2022年度第2四半期決算説明会

2022年11月25日

石原産業(株)

URL https://www.iskweb.co.jp

＜お問い合せ先＞
取締役常務執行役員
財務本部長　川添 泰伸

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

目次

1 | トピックス

2 | 2022年度　第2四半期実績

3 | 2022年度　業績予想

4 | 事業別　業績概要

5 | 付属資料

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

トピックス

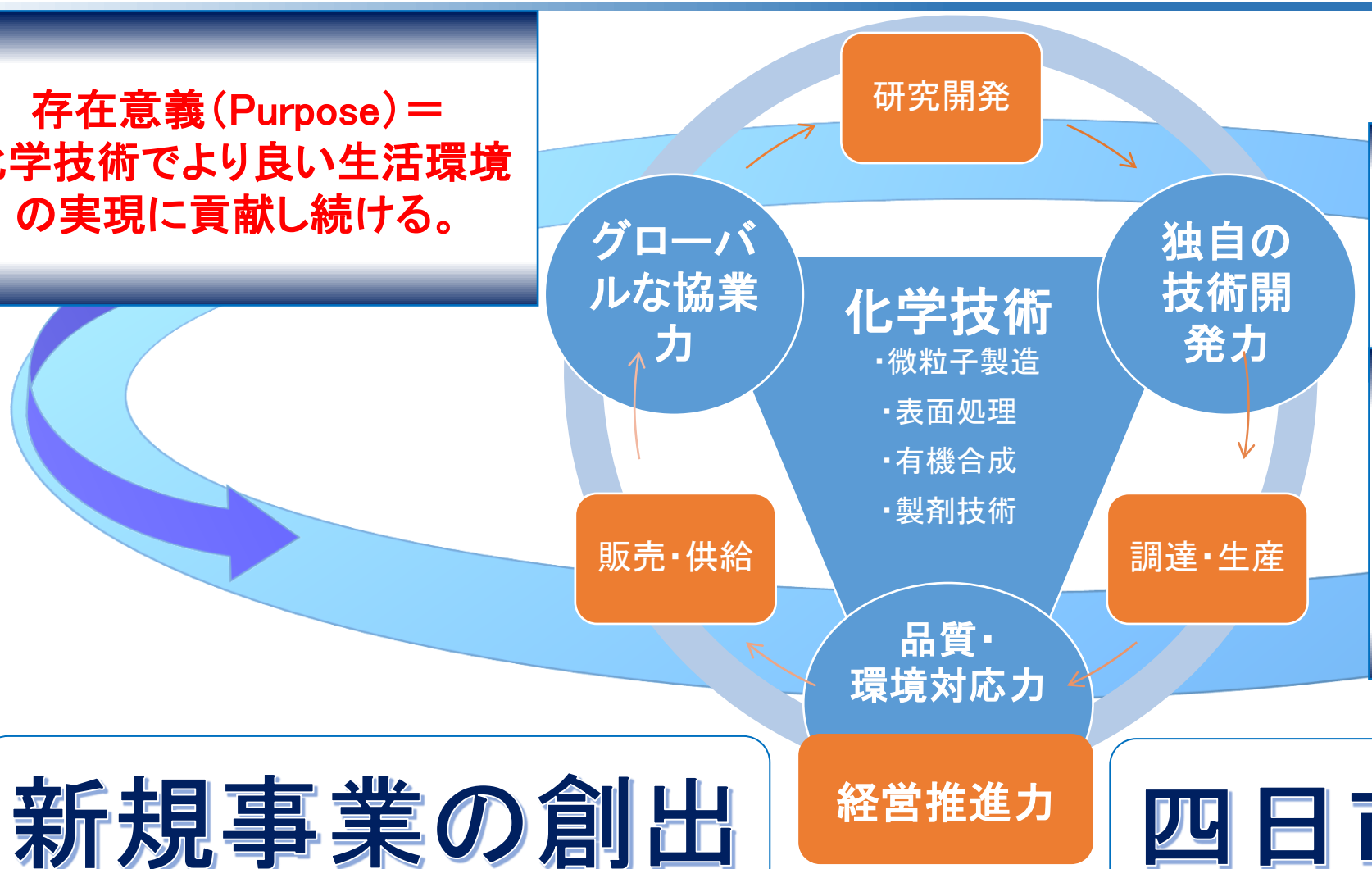
社長ごあいさつ

取締役社長　髙橋　英雄

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

「Vision 2030」達成に向けて

存在意義（Purpose）＝
化学技術でより良い生活環境の実現に貢献し続ける。



Vision 2030
「独創・加速・グローバル。化学の力で暮らしを変える。」

- 売上高2,000億円超
- 営業利益率15%以上
- ROE10%以上
- 安定的な株主還元の継続

新規事業の創出

四日市工場再構築

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

「独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。」

「Vision 2030　Stage　Ⅰ」の骨子

中計「Vision 2030　Stage　Ⅰ」の基本方針

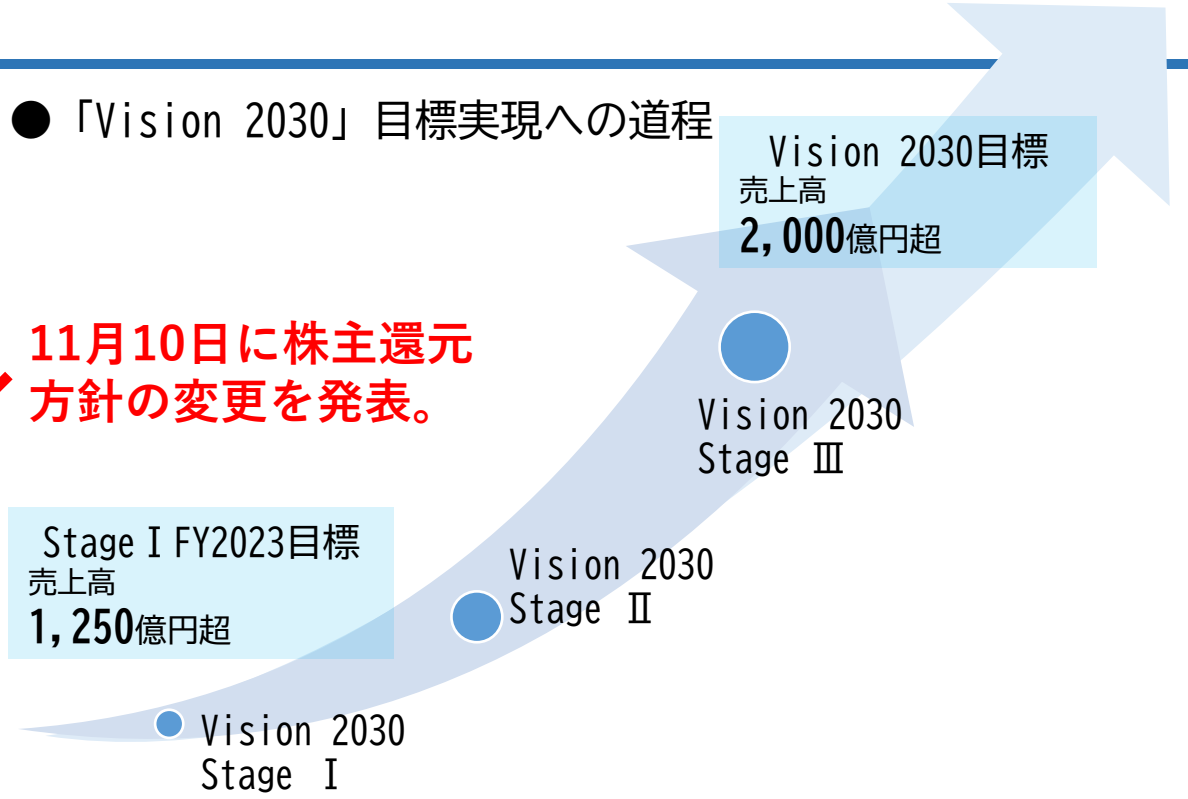
ESG・SDGs視点での経営の取り組みを強化することにより、サステナブルな企業価値創造を目指す。

FY2023経営目標

■ 連結売上高	1,250億円超
■ 連結営業利益率	13%以上
■ ROE	10%以上
■ 株主還元方針	安定的かつ連結業績を反映した配当の継続

11月10日に株主還元方針の変更を発表。

● 「Vision 2030」目標実現への道程



戦略の方向性

経営全般：■ ESG・SDGs視点でのサステナブルな経営の取り組み強化

無機化学事業	有機化学事業	研究開発
■ 新たな価値創造で環境と情報化社会の進展に貢献	■ 世界の人々の食、健康、生命への貢献	■ 技術革新への挑戦

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

「Vision 2030　Stage Ⅰ」の全体像

各事業の重点施策

無機化学事業

- 高機能・高付加価値品の販売比率向上
- 電子部品材料と導電性材料の拡販戦略の実行
- 更なる成長ドライバとなる新製品の開発加速
- 主原料鉱石の有利調達の実現
- 廃棄物低減や製造および業務プロセス改善による四日市工場のコスト削減の推進
- 製造拠点の最適化に向けたマスタープランの始動
- 温暖化ガス削減に向けたロードマップ作成

有機化学事業

- 主力農薬原体の世界一低コスト製造と安定供給により当社世界市場占有率の拡大
- 次期主力農薬の製造コスト低減と需要拡大
- バイオラショナル分野の開発・商品化とIPM深化
- 農薬の販社複数起用など戦略的・革新的な営業施策の実行
- 世界各国での農薬登録の取得・維持
- 化学合成技術の錬磨と伝承の基盤強化
- 動物用医薬品のグローバル展開

両事業共通

- トップライン（売上）の拡大
- 新事業/新製品創出力の強化
- 「Vision 2030」に向けた社内の構造・意識改革

資本政策

- 株主還元の強化（安定的な株主還元の継続）
- 資本コスト経営の徹底
  ～キャッシュ・コンバージョン・サイクル全体の改善など～

経営全般

SDGs視点でのサステナブルな経営の取り組みの推進・強化

- ESG・SDGs視点での経営を通じた事業機会の拡大
- マテリアリティ（SDGs）の特定、マテリアリティに関連する取り組みの強化
- DXの推進、業務効率化による働き方改革
- コンプライアンス経営の継続・強化
- リスクマネジメントの強化

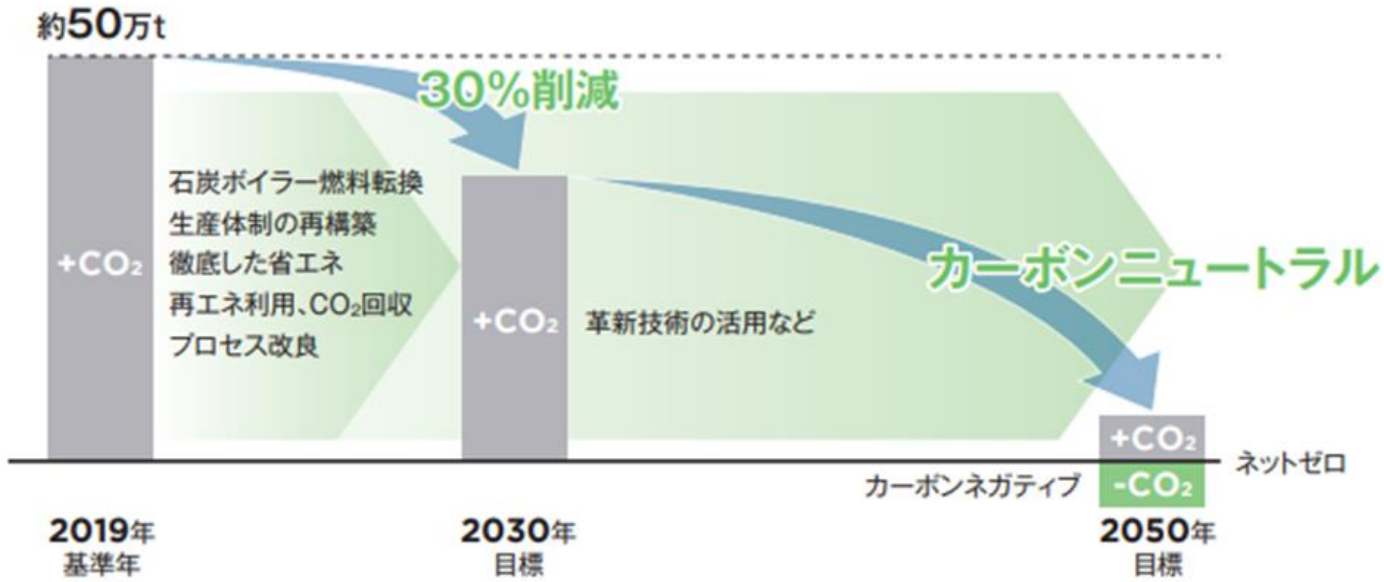
Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

上半期のESG取り組みの成果

1. CO_2排出ゼロへ！　ロードマップ策定

- 2030年：CO_2排出量30%削減を目指す（2019年度比）
- 2050年：カーボンニュートラル（実質排出ゼロ）に挑戦

●CO_2排出削減ロードマップ



2. 人権リスクマネジメントの取り組み

- ダイバーシティ・人的資源の活用

3. 健康経営への取り組み

- 健康経営KPI達成に向け、健康増進施策を推進

4. 経営戦略の議論の活性化

- 経営会議・取締役会のあり方見直し

5. DX・働き方改革への取り組み

- 業務の効率化・働き方見直し
- 生産体制強化

6. 統合報告書による情報開示

- 「統合報告書2022」を2022年10月発行

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

当第2四半期決算のトピックス

- **無機化学事業**は、酸化チタンの自動車向け販売は低調であったものの、インキ分野などの需要は堅調に推移し、電子部品用材料の需要が拡大。価格改定の浸透や為替円安により**増収**。原燃料価格の高騰を受け、販売価格の転嫁に取り組んだものの、そのペースを上回るコスト上昇により、**減益**。

- **有機化学事業**の主力農薬は、米州の殺菌剤や除草剤などを中心に海外向け販売が増加して**増収**。ブラジルでの旺盛な穀物生産を背景に殺菌剤販売が好調、北米向けの新規除草剤も拡大。原燃料価格の高騰によるコスト増と、一般管理費の増加により**利益は前年度並み**。

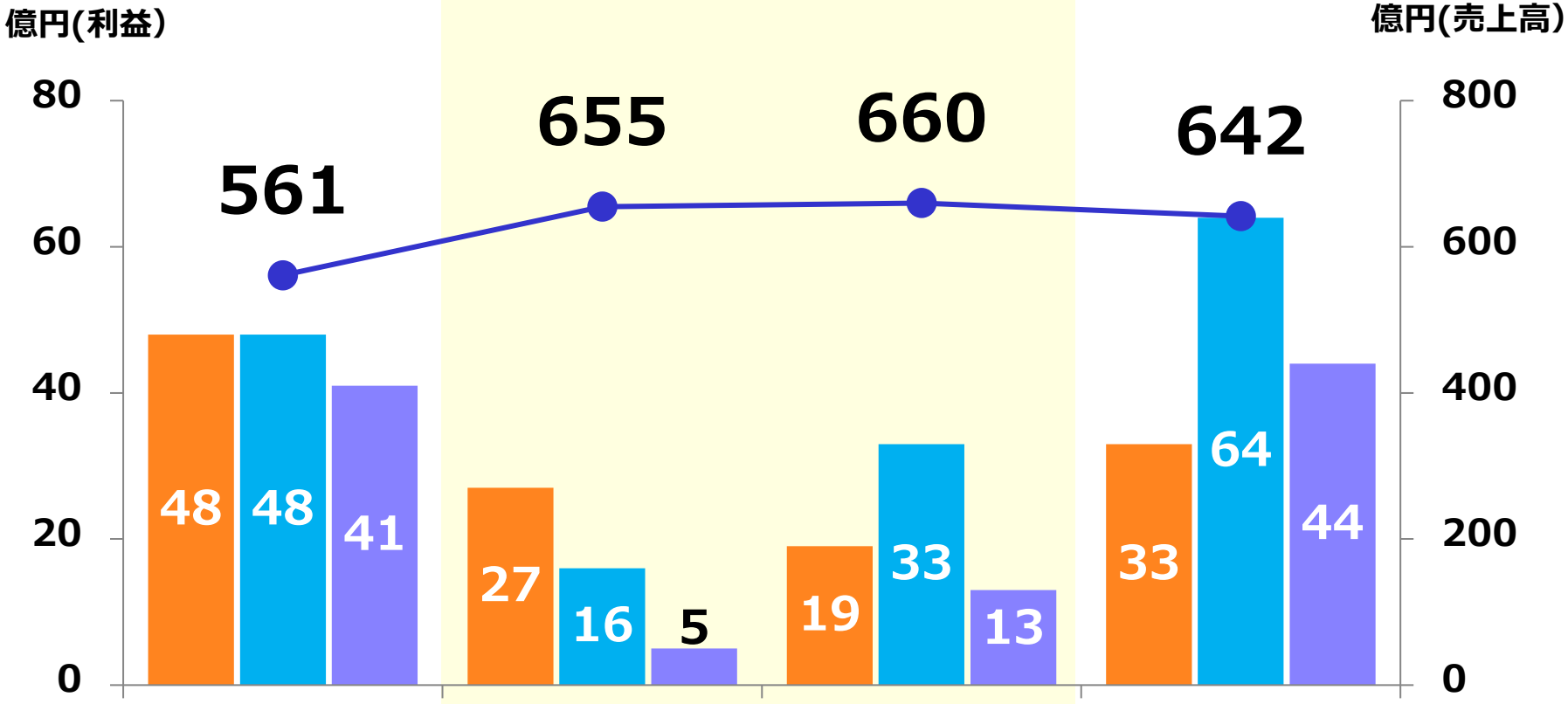
Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度　第2四半期連結業績

Vision 2030

「独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。」

- **売上高　642億円**
  （前年同期比　８０億円増）
- **営業利益　33億円**
  （前年同期比　１５億円減）
- **経常利益　64億円**
  （前年同期比　１６億円増）
- **純利益　44億円**
  （前年同期比　　２億円増）



為替レート(¥/U$)	109.8	120.0	129.5	133.5
(¥/€)	131.3	130.0	135.6	138.2

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

2022年度業績予想のトピックス

- **無機化学事業**では、急激な為替円安などの影響により、酸化チタンの販売価格改定を上回るペースで原燃料価格が続騰していることによる収益悪化が見込まれる。

- **有機化学事業**の主力農薬は、欧米で殺菌剤の販売が好調であるなど、引き続き海外販売を中心に堅調な販売が見込まれる。

- 第2四半期までの業績を踏まえ、**予想数値を修正した**。

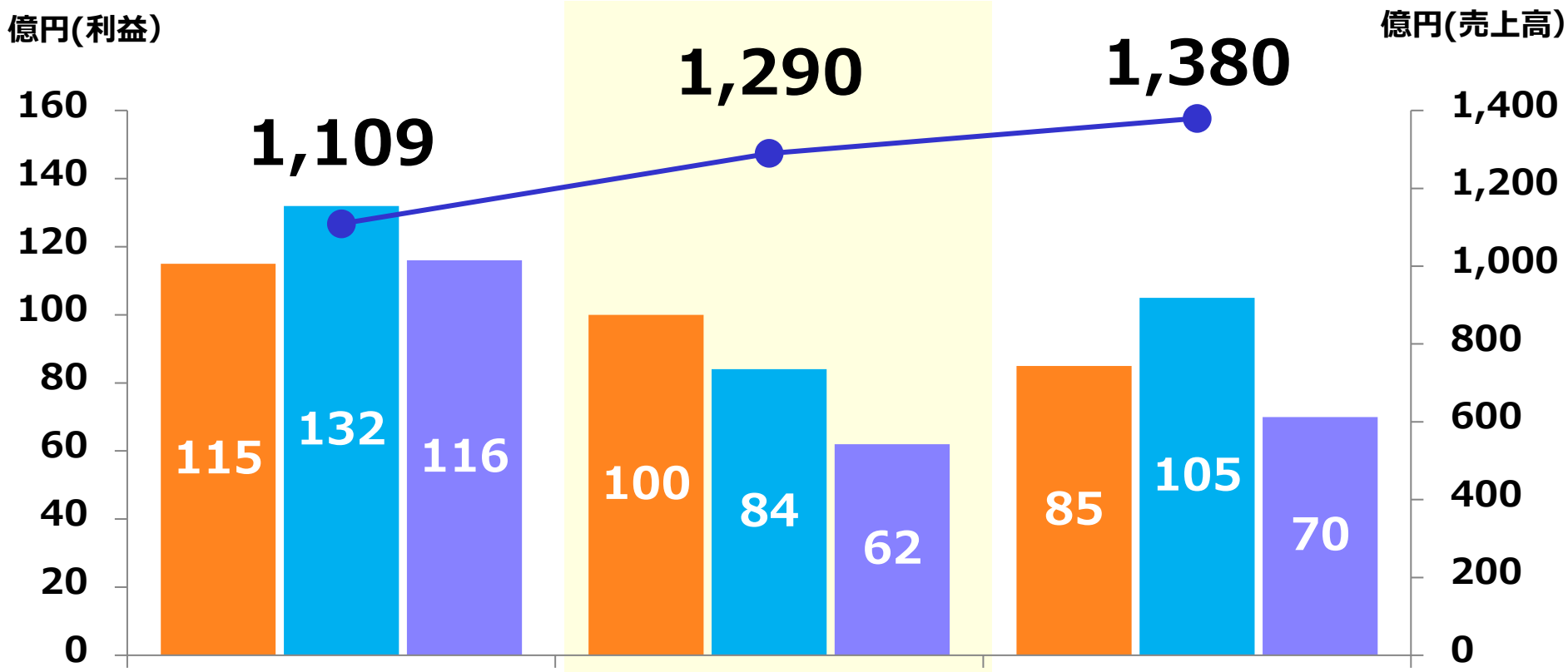
- 今後も、長期化するロシア・ウクライナ戦争や、中国経済の減速、インフレの加速などで世界経済の先行きは混迷を極めており、特に、無機化学事業の主力酸化チタンの損益が、石炭価格の続騰や、景気後退による需要減などにより、更に悪化する懸念があり、予断を許さない。

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度　通期連結業績予想

Vision 2030

「独創・加速・グローバル。
化学の力で暮らしを変える。」



	FY2021	FY2022 5月予想	FY2022 修正予想
為替レート(¥/U$)	112.8	120.0	138.3
(¥/€)	130.4	130.0	139.1

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

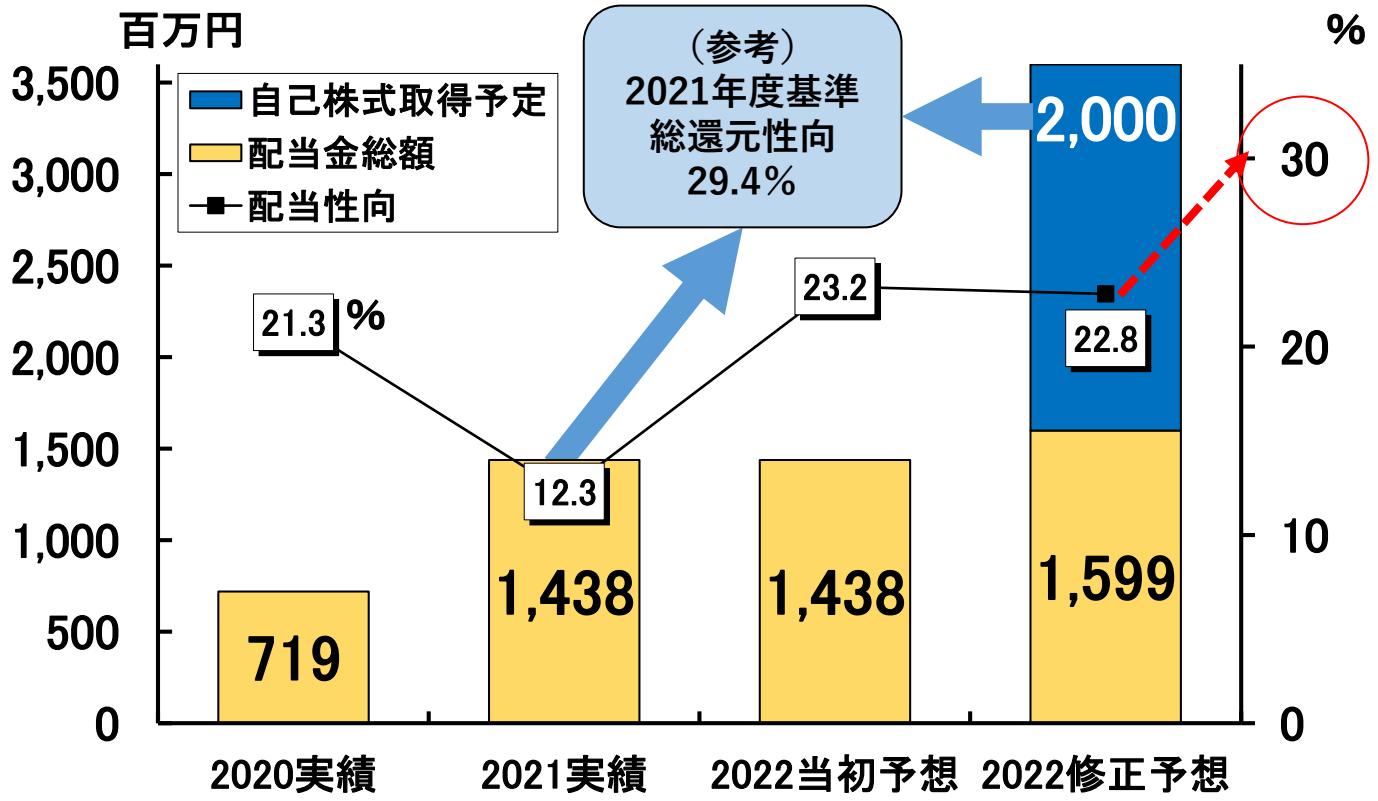
株主還元

■ 株主還元方針の変更

「当社は、企業価値を高めるとともに、株主の皆様へ利益を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位置付けております。
配当につきましては、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続を基本に考えております。
併せて、機動的に自己株式取得も行い総還元性向も意識した株主還元を行ってまいります。
中期経営計画「Vision 2030 Stage Ⅰ」では、最終年度（2023年度）に向けて連結配当性向30%を目標とします。」

■ 上記方針に基づき、業績予想の修正を勘案し、2023年3月期の期末配当予想については、直近の配当予想から4円増配し、1株当たり40円に修正する。

■ 2022年11月11日より2023年3月31日の期間で、上限20億円（株式数上限230万株）の自己株式取得を行います。



年間配当金（円/株）	18円	36円	36円	40円

注）2022年度は自己株式取得の影響を考慮していません。2022年9月末の株式数にて配当金総額を試算しています。

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度　第2四半期実績

為替レート	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
米ドル（円/U$)	109.8	133.5
ユーロ（円/Eur)	131.3	138.2

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度第2四半期実績

- 為替円安が追い風になり増収増益
- 原燃料価格の高騰によるコスト増で、営業利益は減益

（単位：億円）	2021年度 第2四半期	**2022年度 第2四半期**	増減	2022年度 第2四半期予想 （2022年8月）	差異
売上高	561	642	80	660	△ 17
営業利益	48	33	△ 15	19	14
経常利益	48	64	16	33	31
純利益	41	44	2	13	31

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度第2四半期　事業別業績

＜無機化学事業＞

- 酸化チタンは、半導体などの部材不足による自動車生産調整に加え、輸出では中国での景気減速の影響などもあったが、価格改定の浸透や為替円安により、増収。
- 機能性材料は、電子部品用材料の車載用やIT関連の販売が堅調に推移。
- 原燃料価格の高騰を受け、販売価格の転嫁に取り組むも、そのペースを上回るコスト上昇により減益。

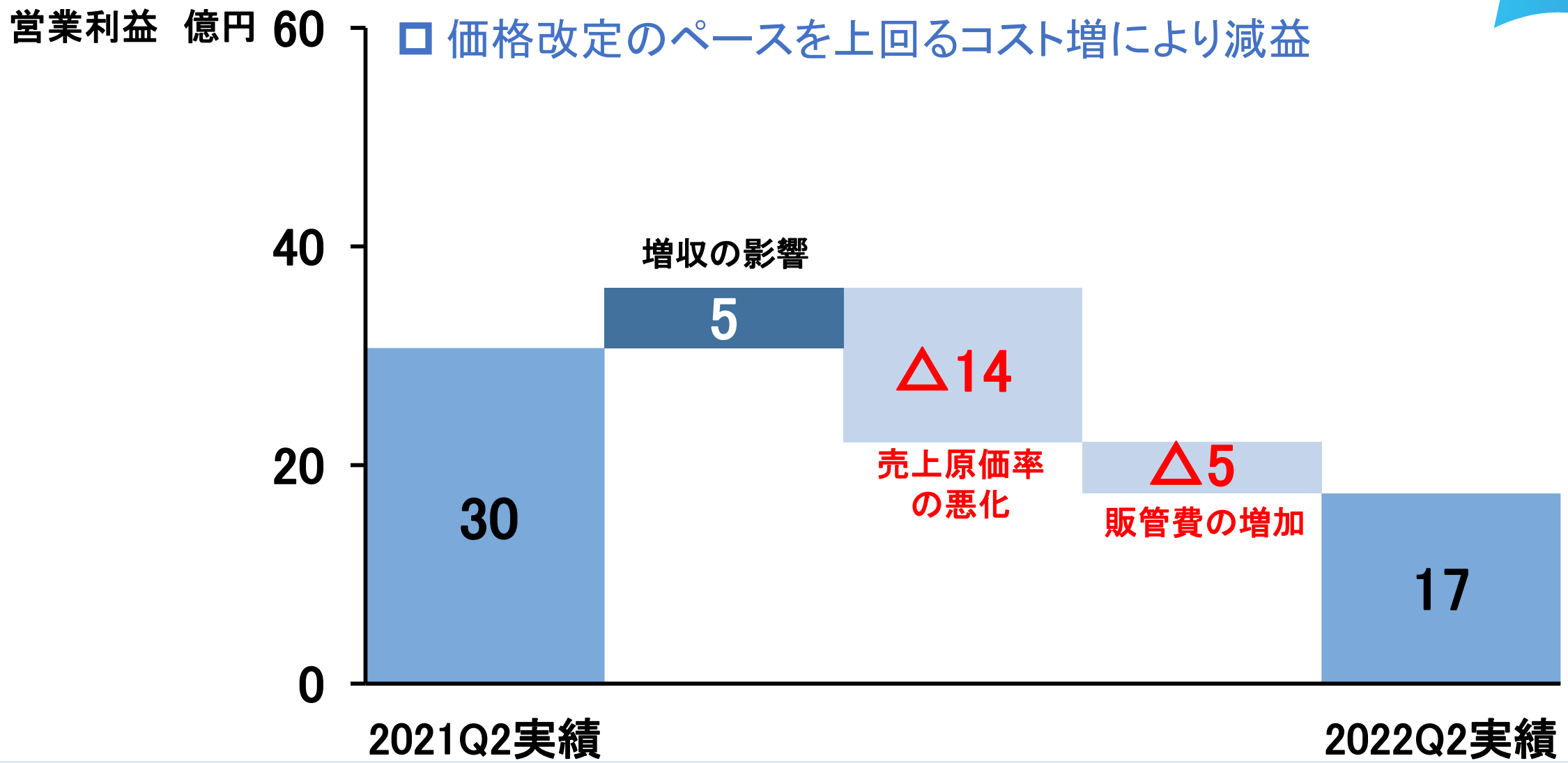
＜有機化学事業＞

- 主力農薬の海外販売は、米州では、ブラジルにおける旺盛な穀物生産を背景に殺菌剤の販売が引き続き好調だった他、北米で除草剤の販売が大きく増加。欧州では、殺菌剤が売上を伸ばしたものの、流通在庫の調整などにより殺虫剤や除草剤の販売が低迷。アジアでは、拡販活動が順調に進んだことなどで、殺菌剤の販売を中心に好調に推移。国内販売は殺虫剤などの販売が堅調に推移。
- ヘルスケア事業の売上高は、前年同期を上回る。

（単位：億円）	2021年度 第2四半期		2022年度 第2四半期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
無機化学事業	289	30	315	17	26	△ 13
有機化学事業	256	16	313	15	56	△ 0
その他	15	1	13	0	△ 1	△ 1
合計	561	48	642	33	80	△ 15

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

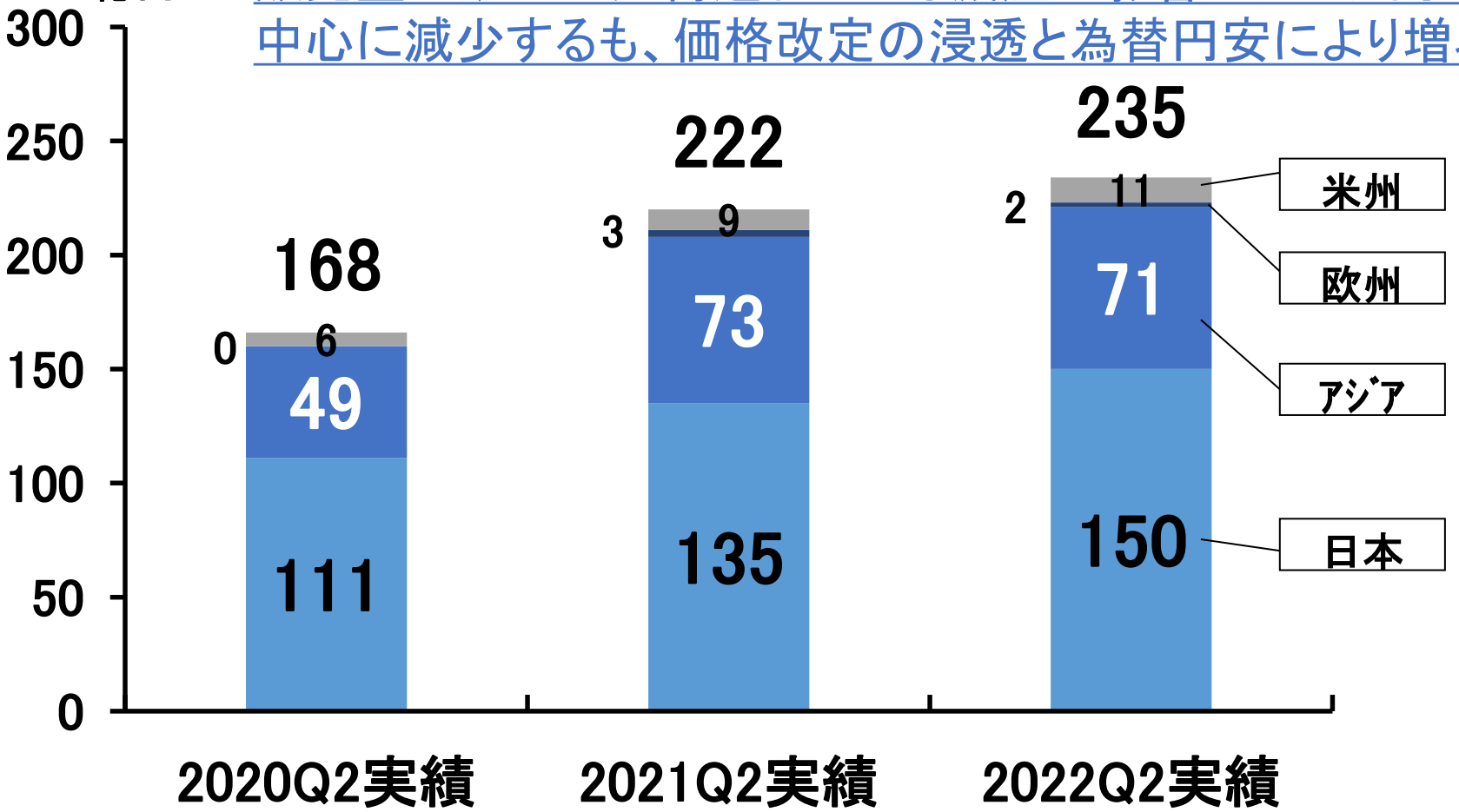
無機化学事業　営業利益増減要因



Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

酸化チタン　地域別販売実績

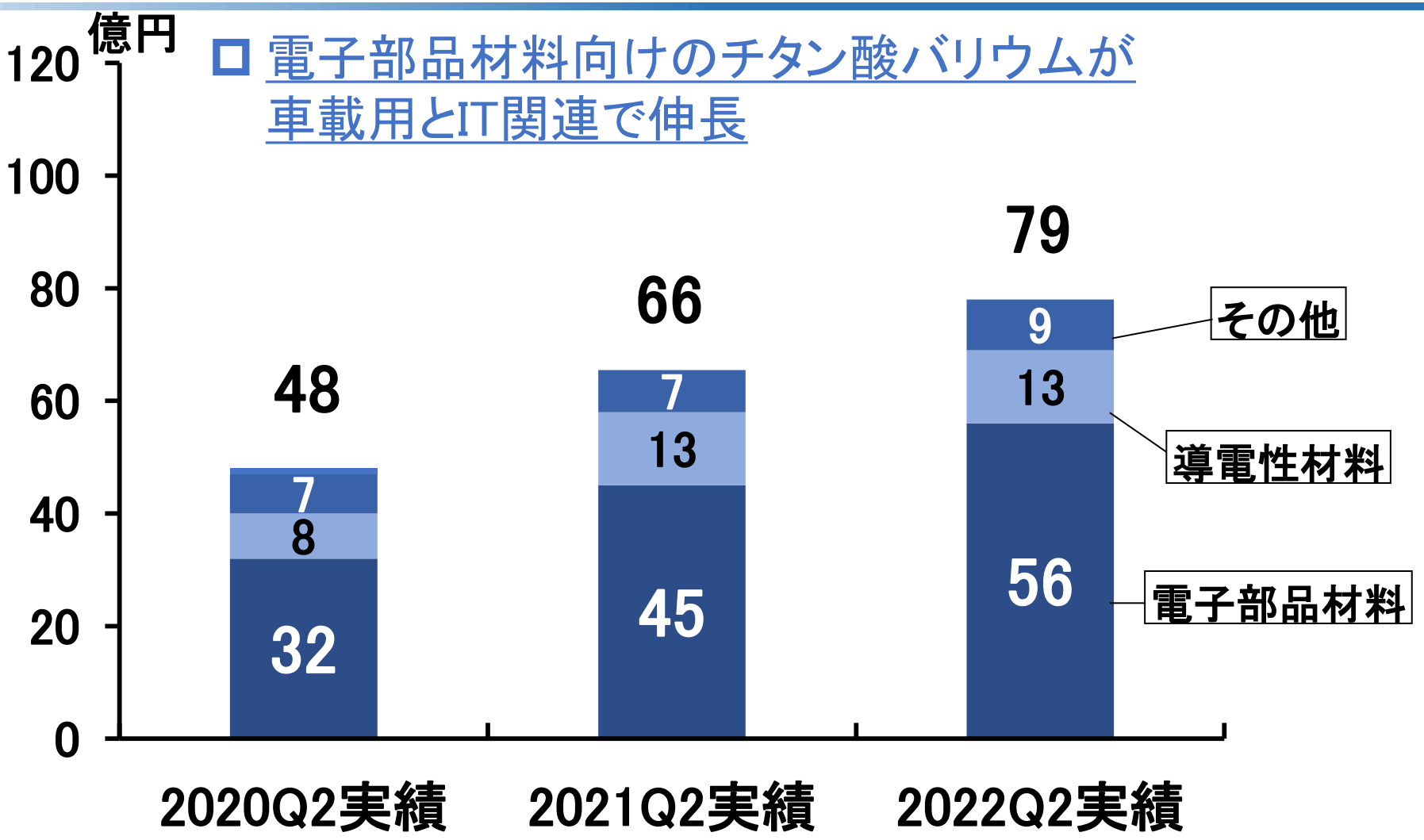
■ 販売量は鉱石の入荷遅れによる減産の影響でアジア向けを中心に減少するも、価格改定の浸透と為替円安により増収



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

機能性材料　材料別販売実績

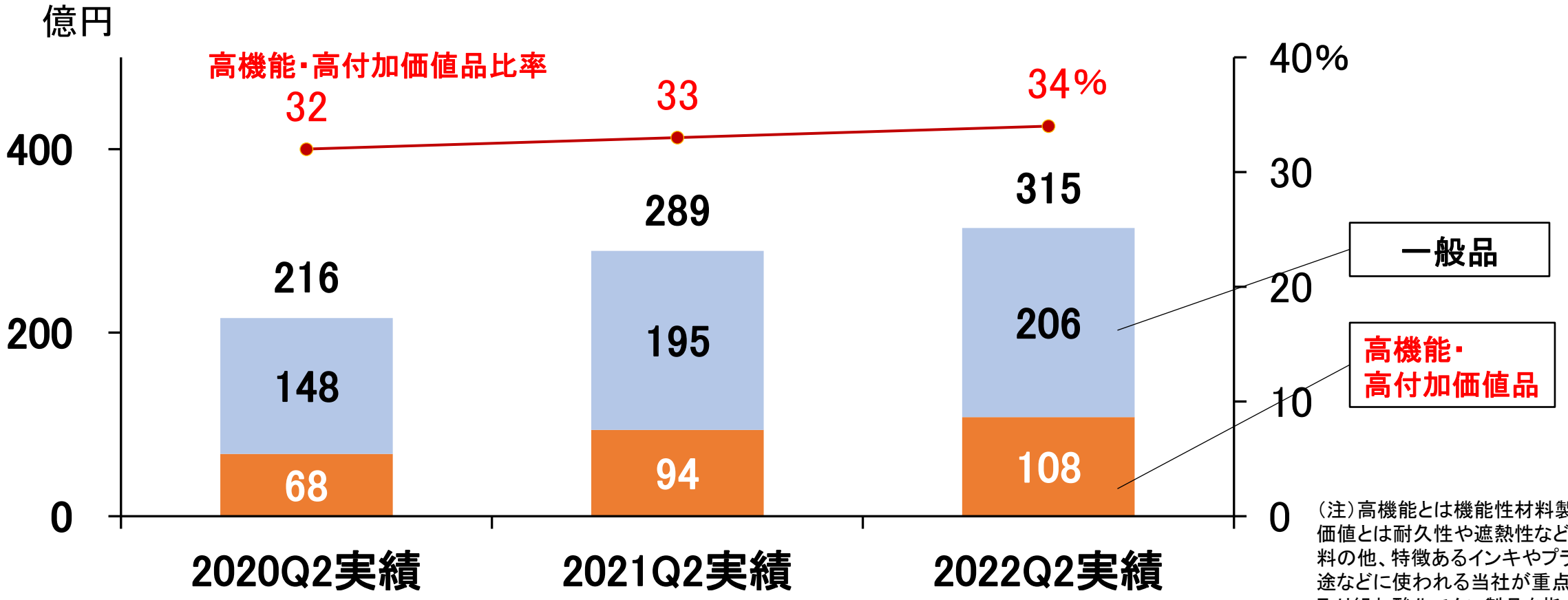
□ 電子部品材料向けのチタン酸バリウムが車載用とIT関連で伸長



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

無機化学事業　高機能･高付加価値品販売比率

□ 高機能･高付加価値品の販売は順調に増加

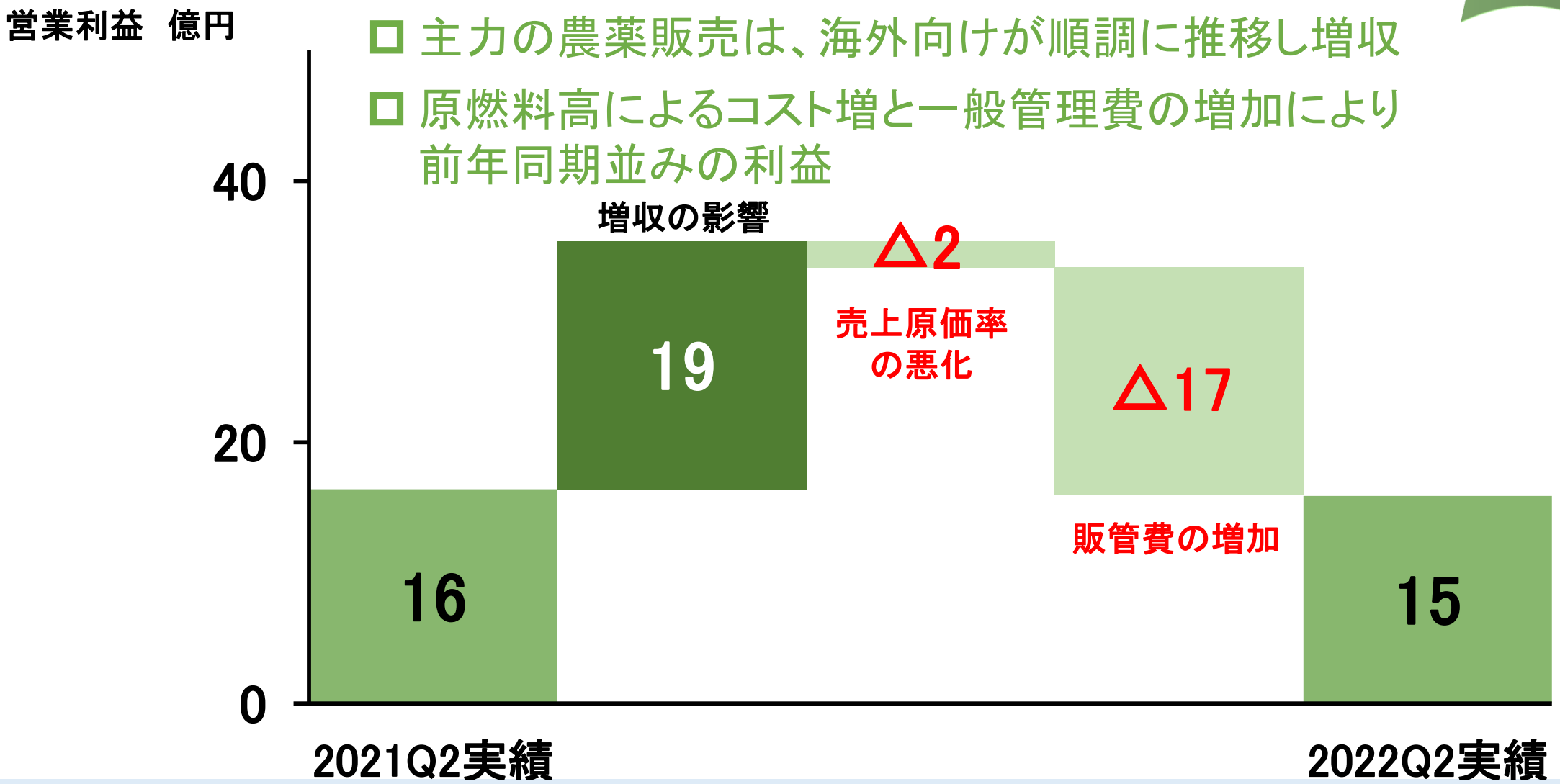


（注）高機能とは機能性材料製品、高付加価値とは耐久性や遮熱性などに優れた顔料の他、特徴あるインキやプラスチック用途などに使われる当社が重点的に拡販に取り組む酸化チタン製品を指す。

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

有機化学事業　営業利益増減要因

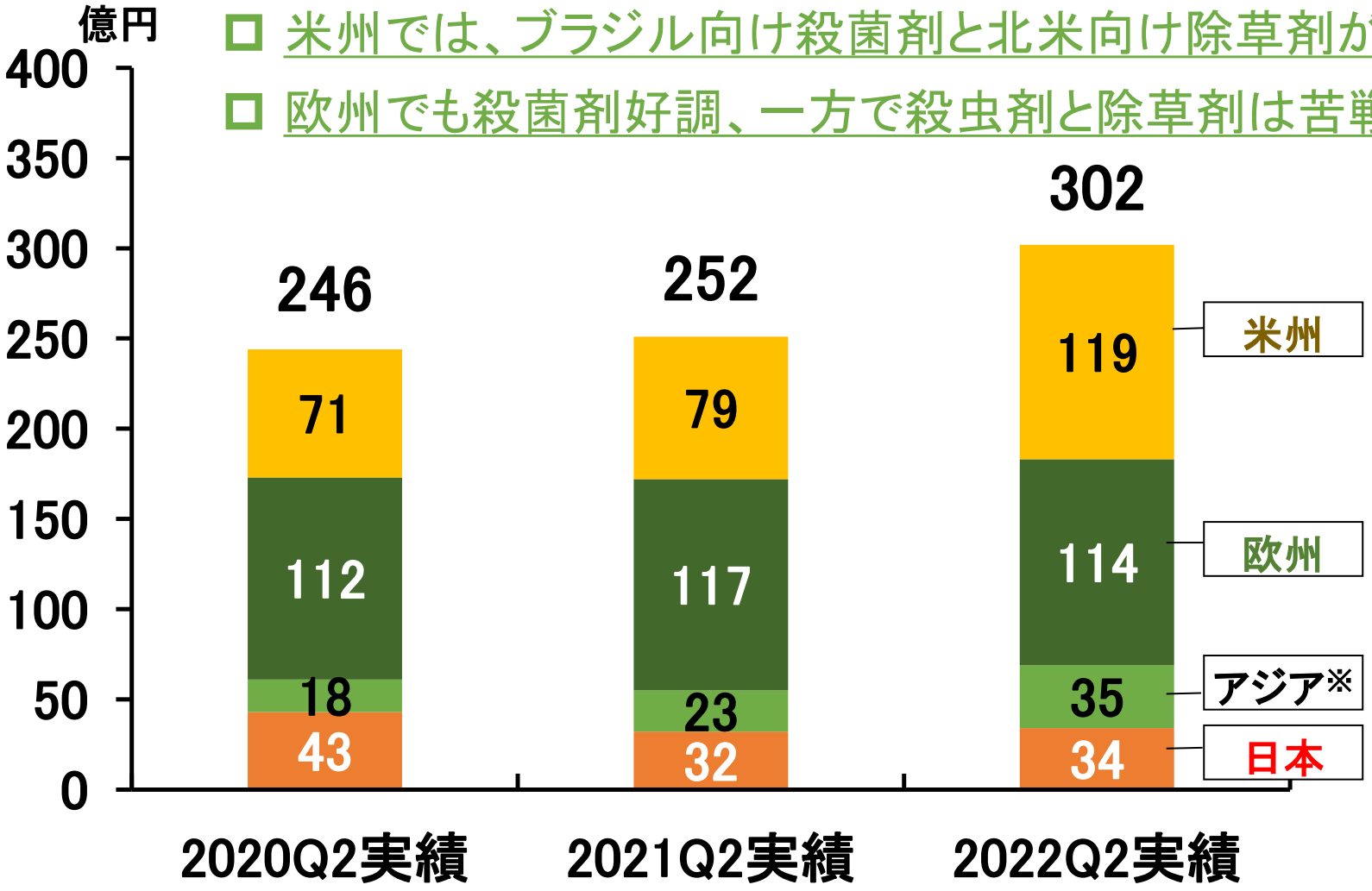
- 主力の農薬販売は、海外向けが順調に推移し増収
- 原燃料高によるコスト増と一般管理費の増加により前年同期並みの利益



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

農薬　地域別販売実績

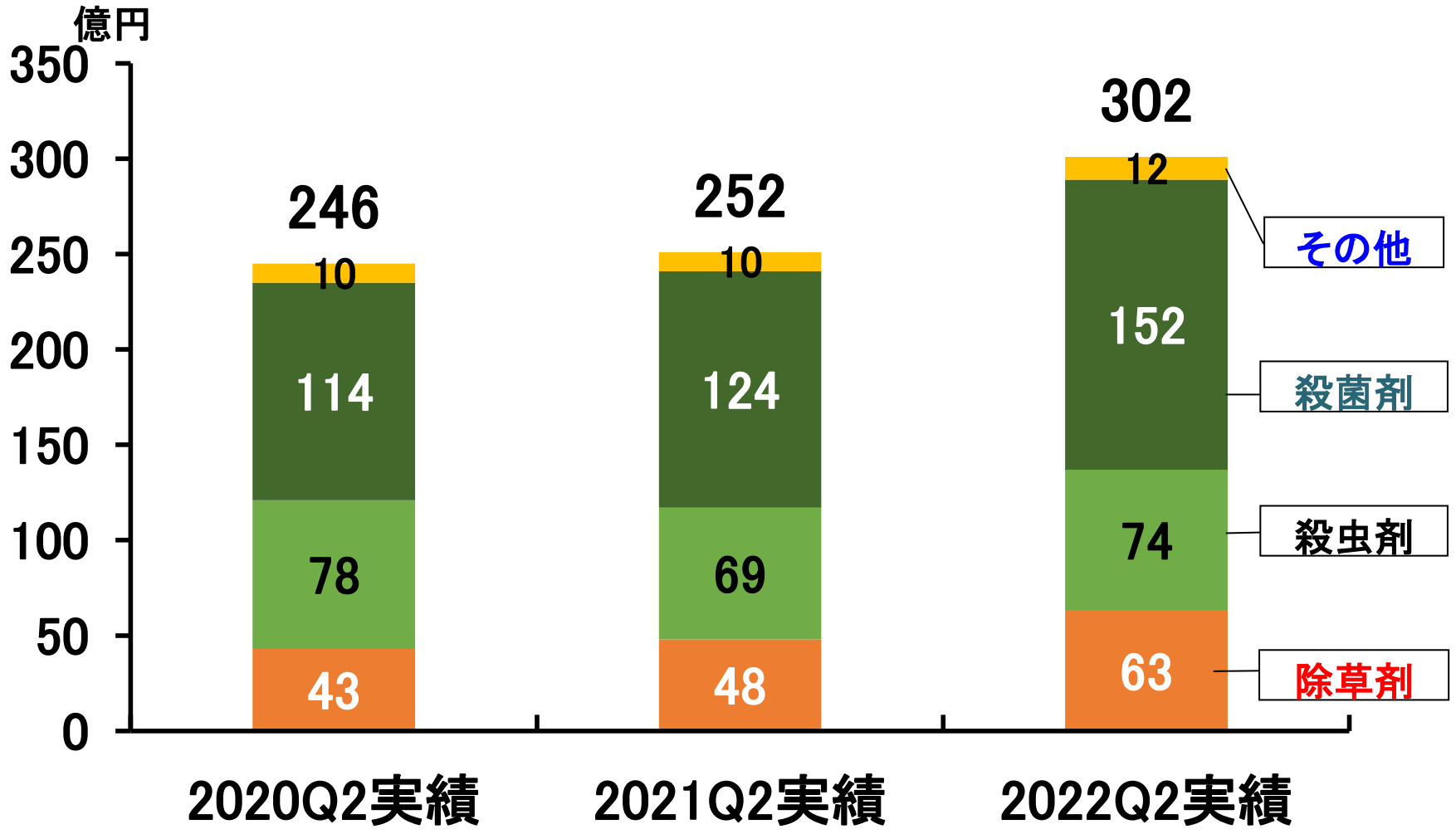
- 米州では、ブラジル向け殺菌剤と北米向け除草剤が好調
- 欧州でも殺菌剤好調、一方で殺虫剤と除草剤は苦戦



※アジアには、
大洋州を含む。

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

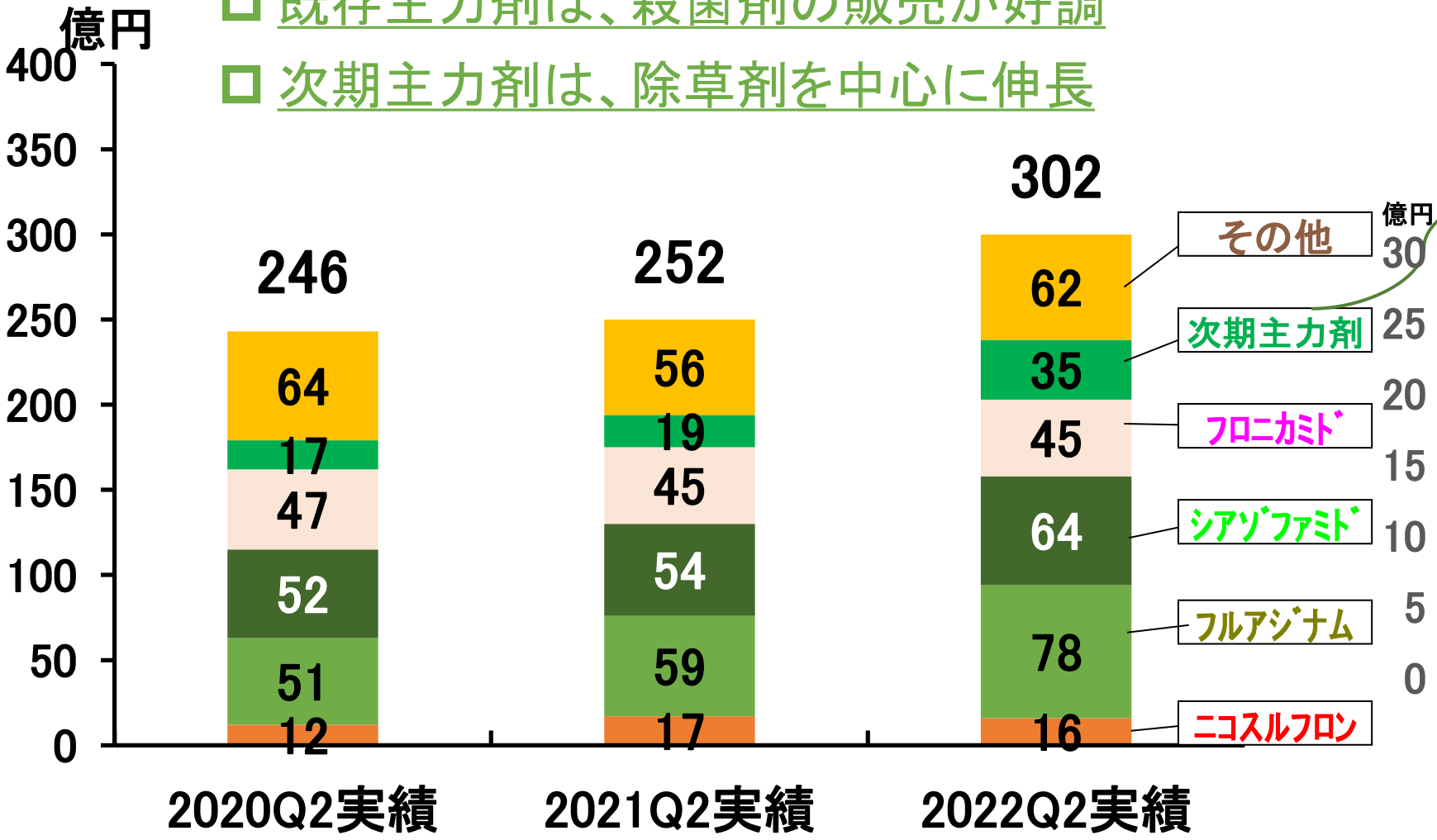
農薬　用途別販売実績

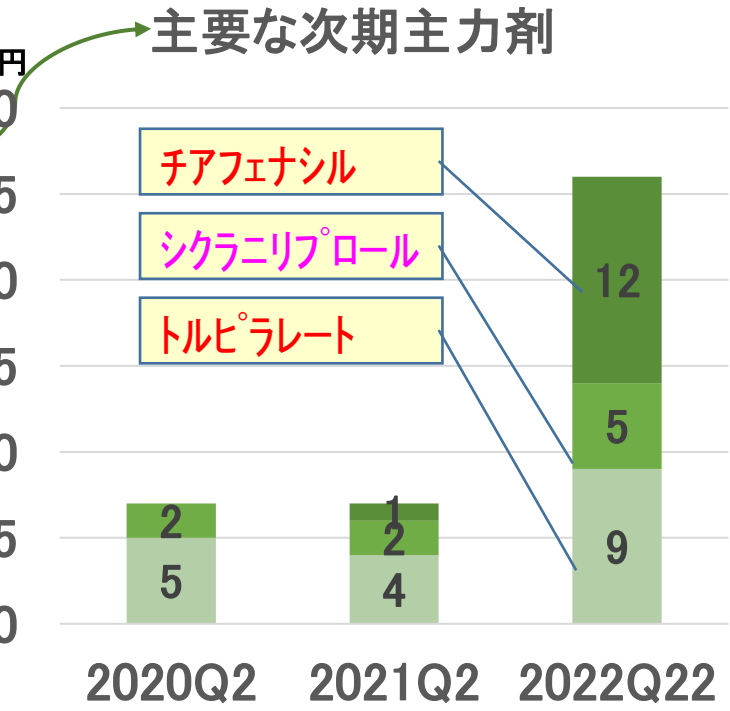


Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

農薬　剤別販売実績

- 既存主力剤は、殺菌剤の販売が好調
- 次期主力剤は、除草剤を中心に伸長





Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

営業外損益・特別損益

	科目（億円）	2021年度第2四半期	2022年度第2四半期	増減
営業外損益	金融収支	△ 1	△ 0	0
	為替差損益	2	23	20
	持分法利益	△ 2	8	11
	その他	0	1	1
	計	△ 0	32	33

	科目（億円）	2021年度第2四半期	2022年度第2四半期	増減
特別損益	固定資産処分損	△ 3	△ 4	△ 0
	債務免除益	5	―	△ 5
	その他	1	0	△ 0
	計	2	△ 4	△ 6

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度　業績予想

為替レート	2021年度 実績	2022年度 修正予想	2022年度 当初予想
米ドル（円/U$)	112.8	138.3	120.0
ユーロ（円/Eur)	130.4	139.1	130.0

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

2022年度　業績予想

- 急激な為替円安の影響や、販売価格の改定、原燃料価格の続騰などを織り込む
- 第2四半期までの業績を踏まえて、予想数値を修正

（単位；億円）	2021年度 実績	**2022年度 修正予想**	増減	**2022年度 当初予想** （2022年5月）	差異
売上高	1,109	**1,380**	270	**1,290**	**90**
営業利益	115	**85**	△ 30	**100**	**△ 15**
経常利益	132	**105**	△ 27	**84**	**21**
純利益	116	**70**	△ 46	**62**	**8**

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

2022年度　業績予想（事業別売上高・営業利益）

- 無機化学事業は、価格改定を上回るコスト増で減益
- 有機化学事業は、海外向け販売が好調、来シーズン向け価格改定も進展

（単位：億円）	2021年度 実績		2022年度 修正予想		増減		2022年度 当初予想（2022年5月）		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
無機化学事業	598	45	699	11	99	△ 34	716	44	△ 17	△ 33
有機化学事業	482	66	655	73	172	6	547	54	108	18
その他	27	3	26	1	△ 1	△ 2	27	2	△ 1	△ 0
合計	1,109	115	1,380	85	270	△ 30	1,290	100	90	△ 15

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

経営指標

	2020年度 実 績	2021年度 実 績	2022年度 修正予想*	2022年度 当初予想 (2022年5月)
1株当り当期純利益(円)	84.4	292.5	175.2	155.2
自己資本利益率(ROE)	4.3%	13.6%	7.4%	6.6%
総資産営業利益率(ROA)	2.9%	6.3%	4.4%	5.4%
売上高営業利益率	5.1%	10.4%	6.2%	7.8%
自己資本比率	44.2%	49.5%	49.9%	52.7%
借入金依存度	33.4%	27.1%	25.3%	23.3%

*2022年度修正予想に2022年自己株式取得の影響は加味していません。

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

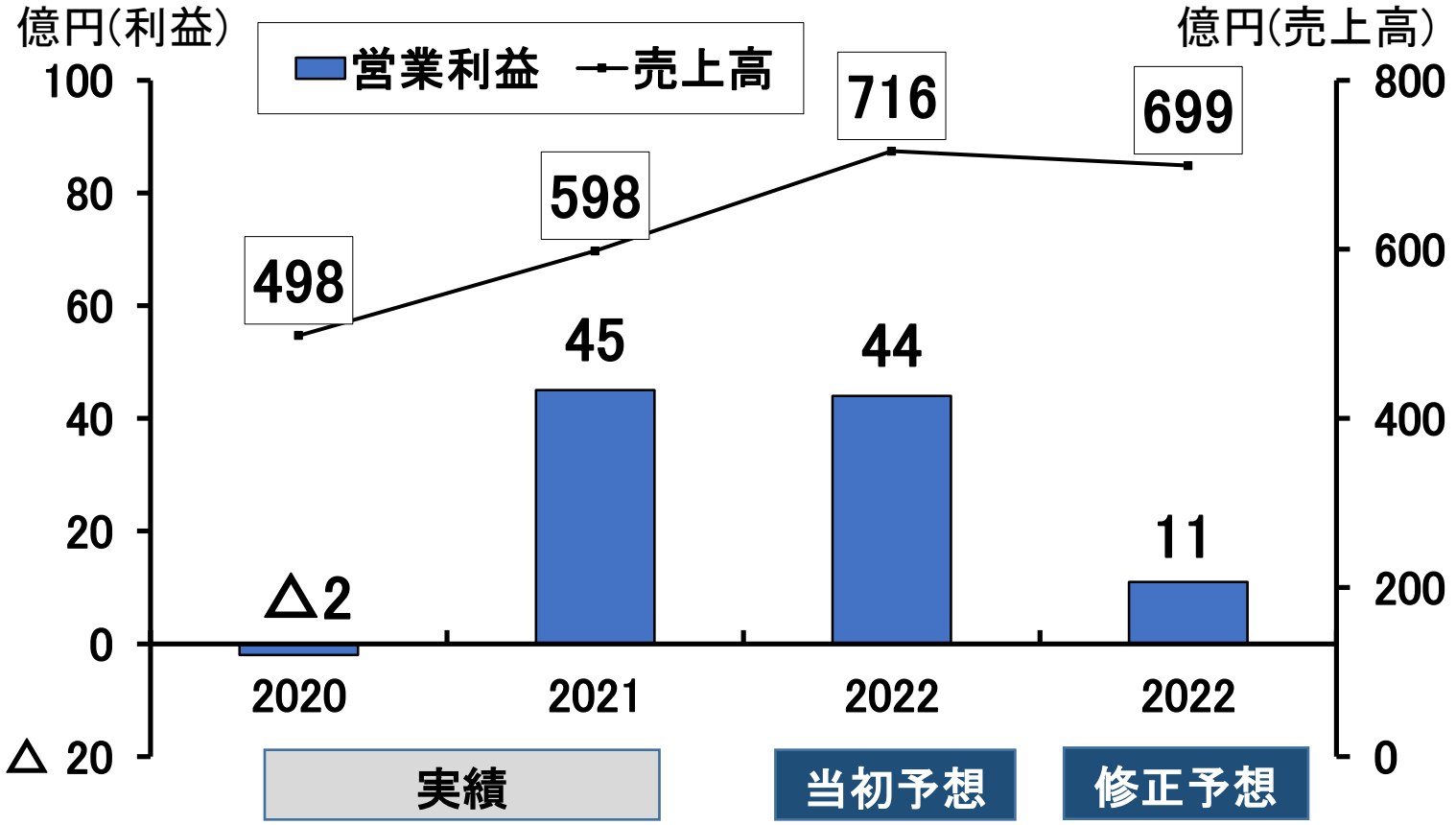
事業別　業績概要

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

無機化学事業　業績計画

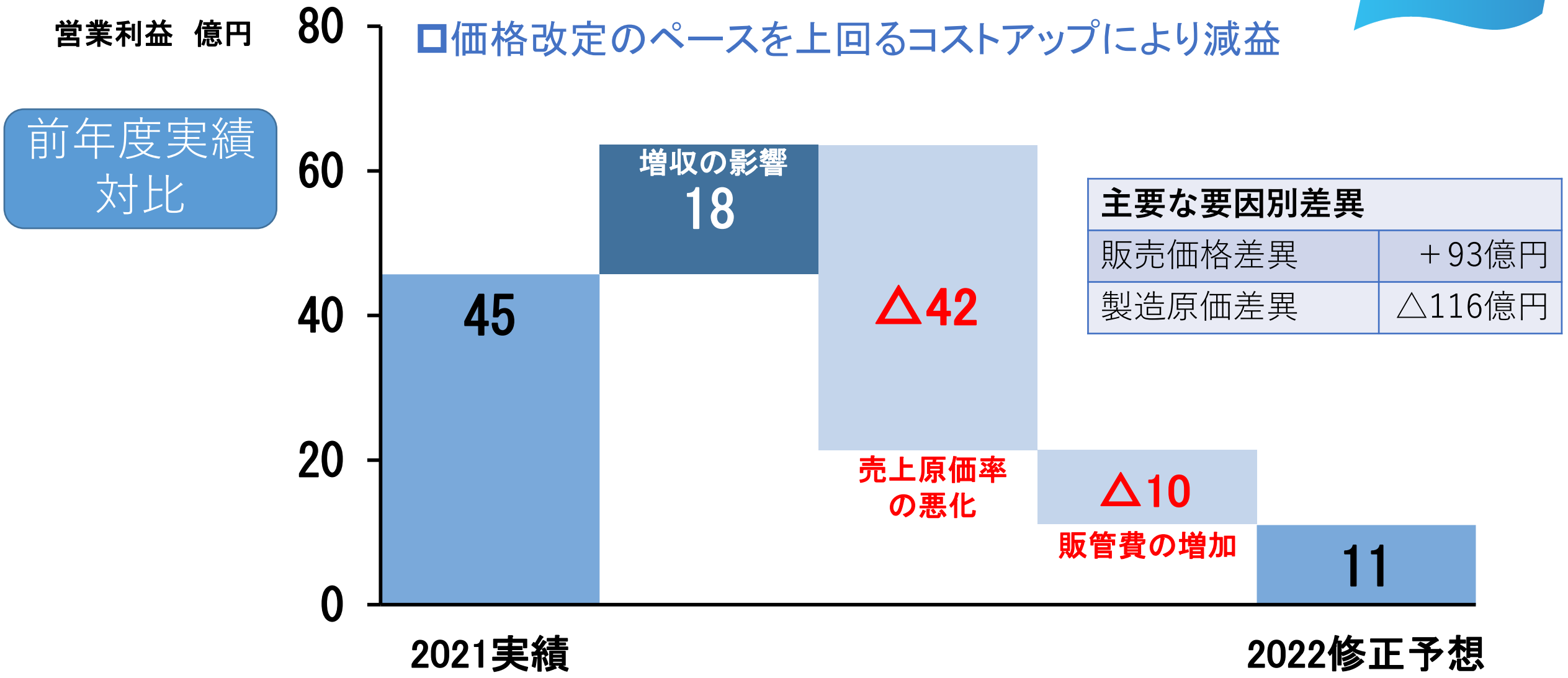
＜事業環境の見通し＞

□ 中国経済の減速や世界的なインフレの影響で、
景気動向の先行きは不透明



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

無機化学事業　営業利益増減要因



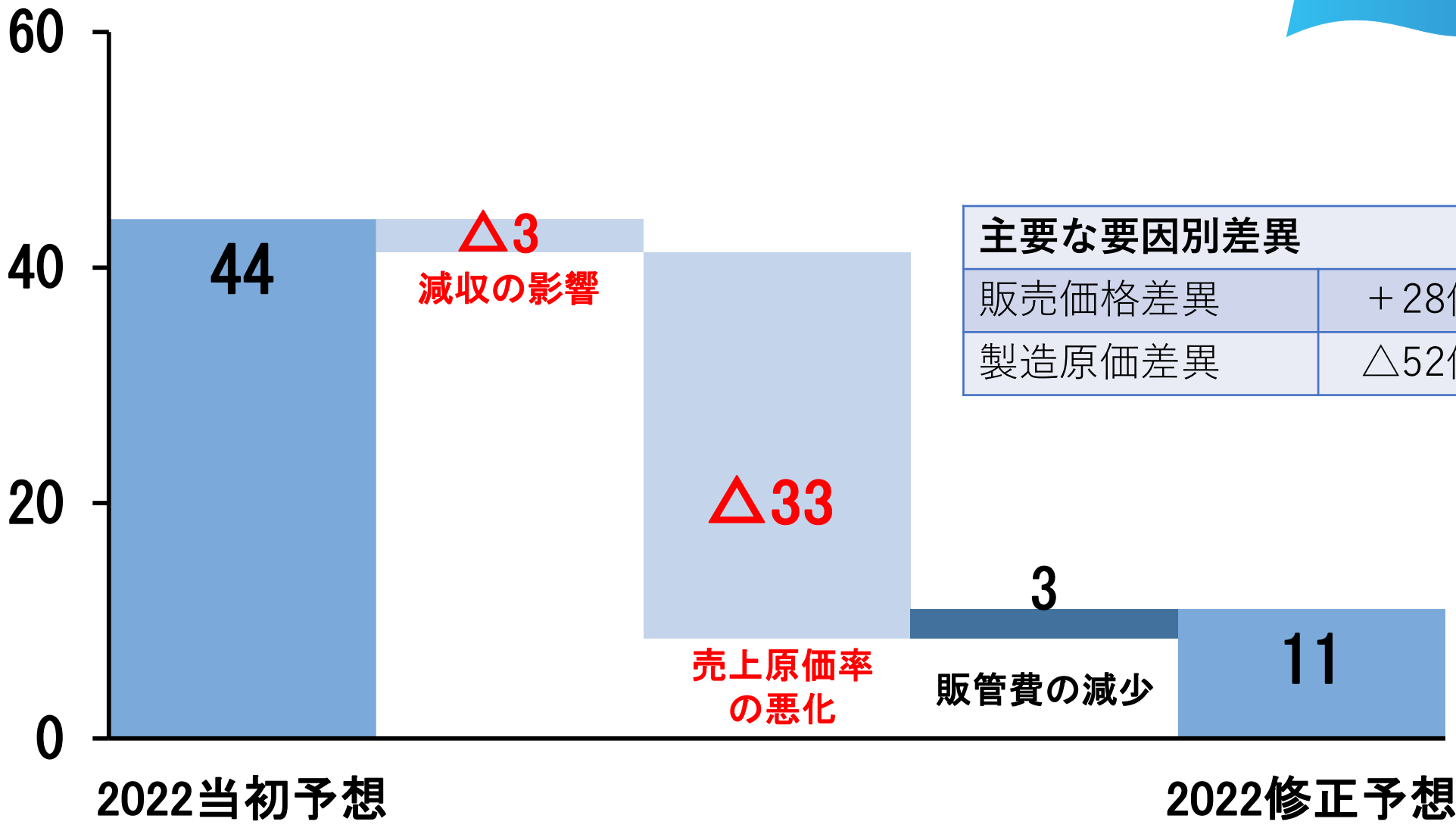
主要な要因別差異	
販売価格差異	＋93億円
製造原価差異	△116億円

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

無機化学事業　営業利益増減要因

営業利益　億円

当初予想
対比

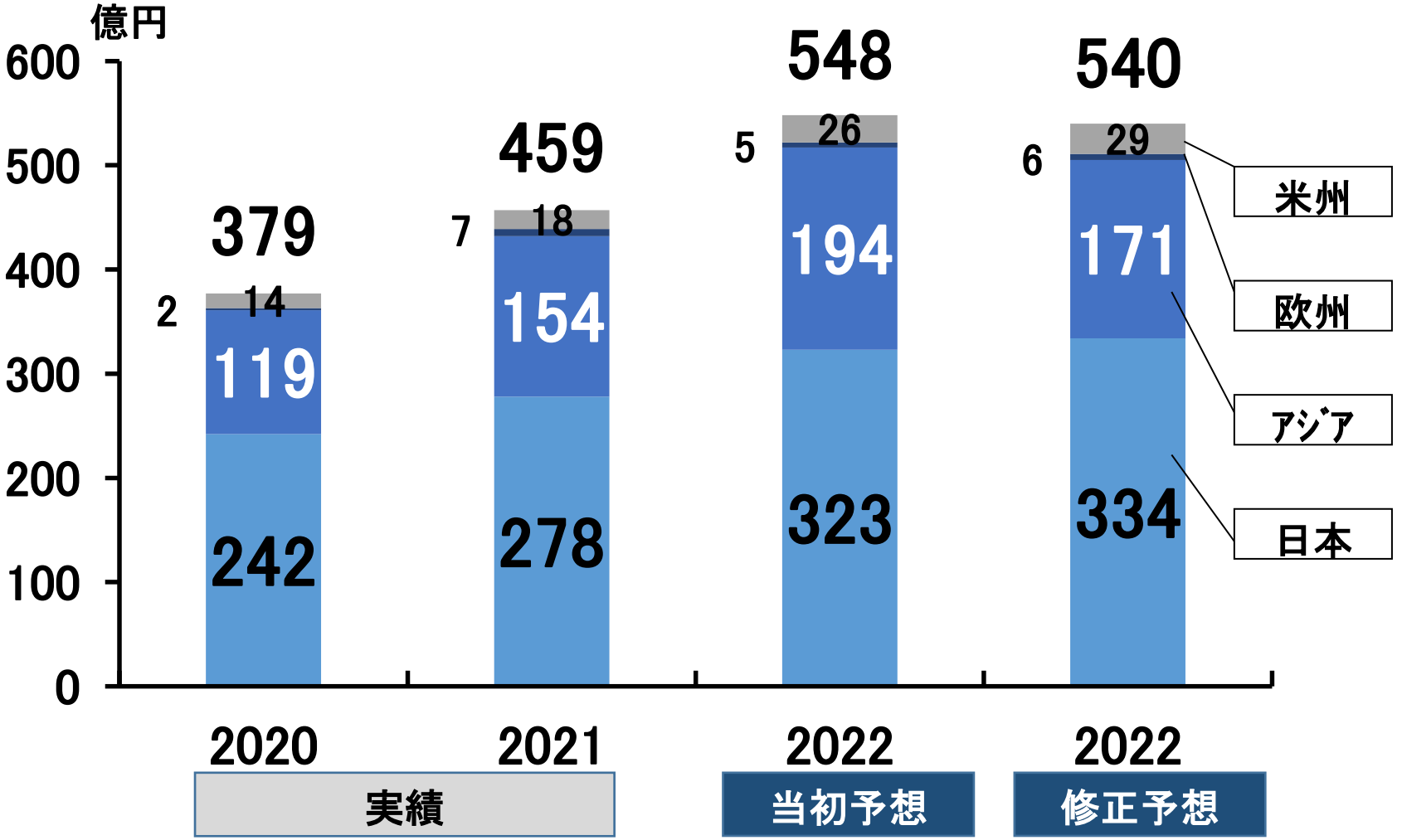


主要な要因別差異	
販売価格差異	＋28億円
製造原価差異	△52億円

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

酸化チタン　地域別販売計画

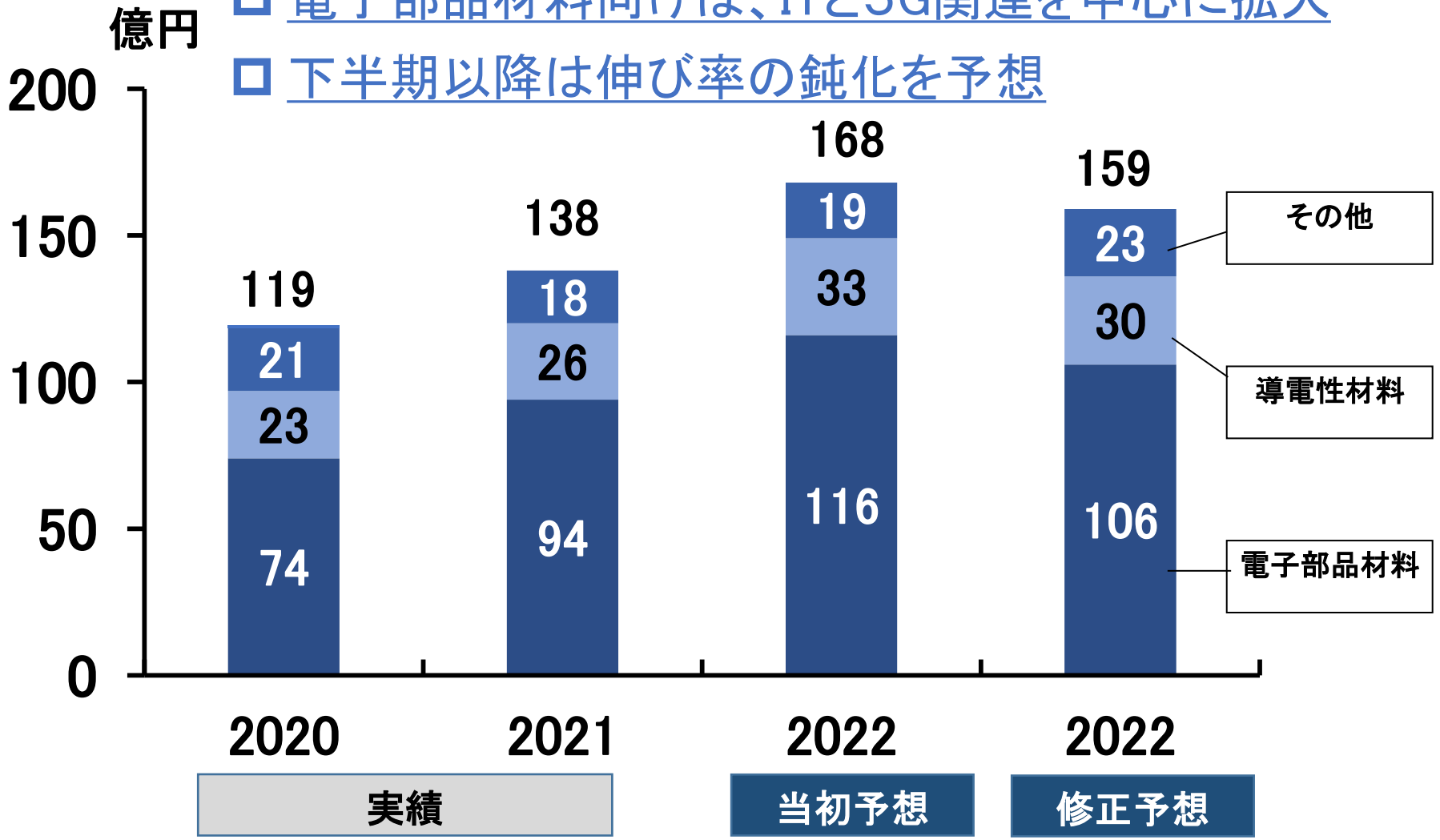
■ 販売数量は前年を下回るが、価格改善と為替差で増収



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

機能性材料　材料別販売計画

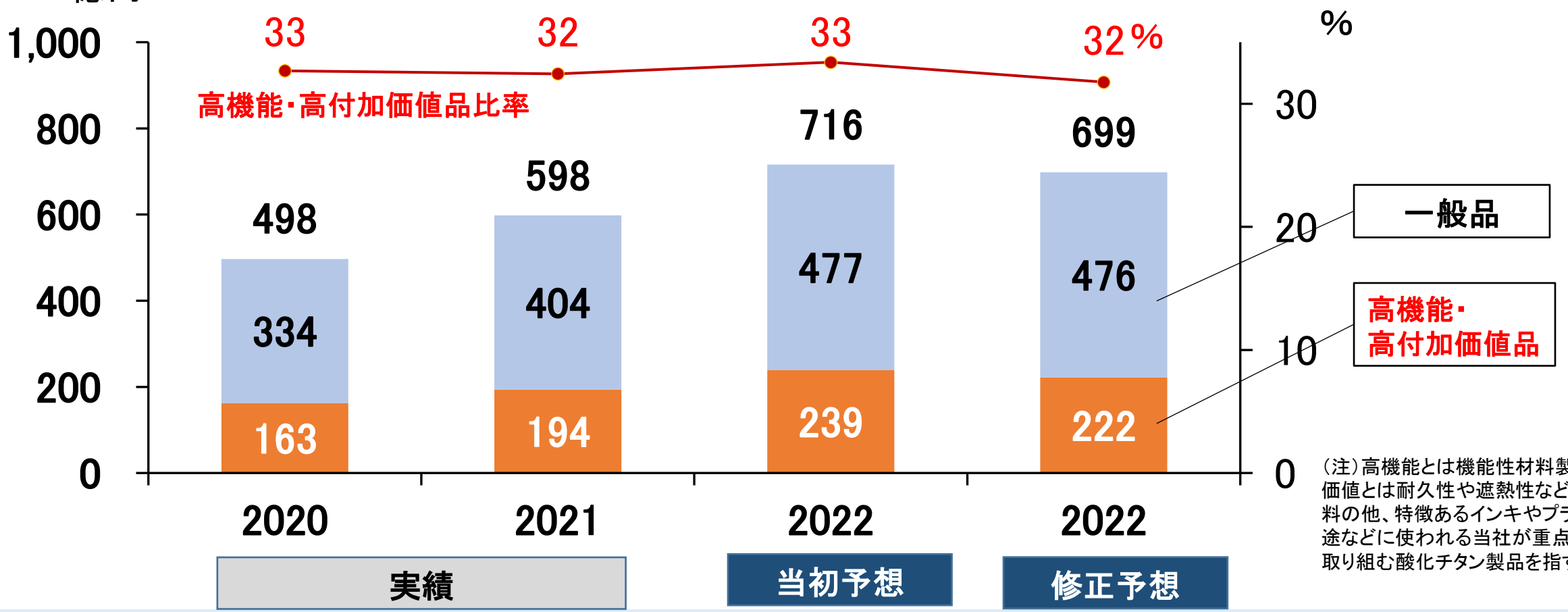
- 電子部品材料向けは、ITと5G関連を中心に拡大
- 下半期以降は伸び率の鈍化を予想



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

無機化学事業　高機能・高付加価値品販売比率

- 高機能・高付加価値品の販売が順調に伸張
- 高機能・高付加価値品比率は、一般品の価格改定で低下

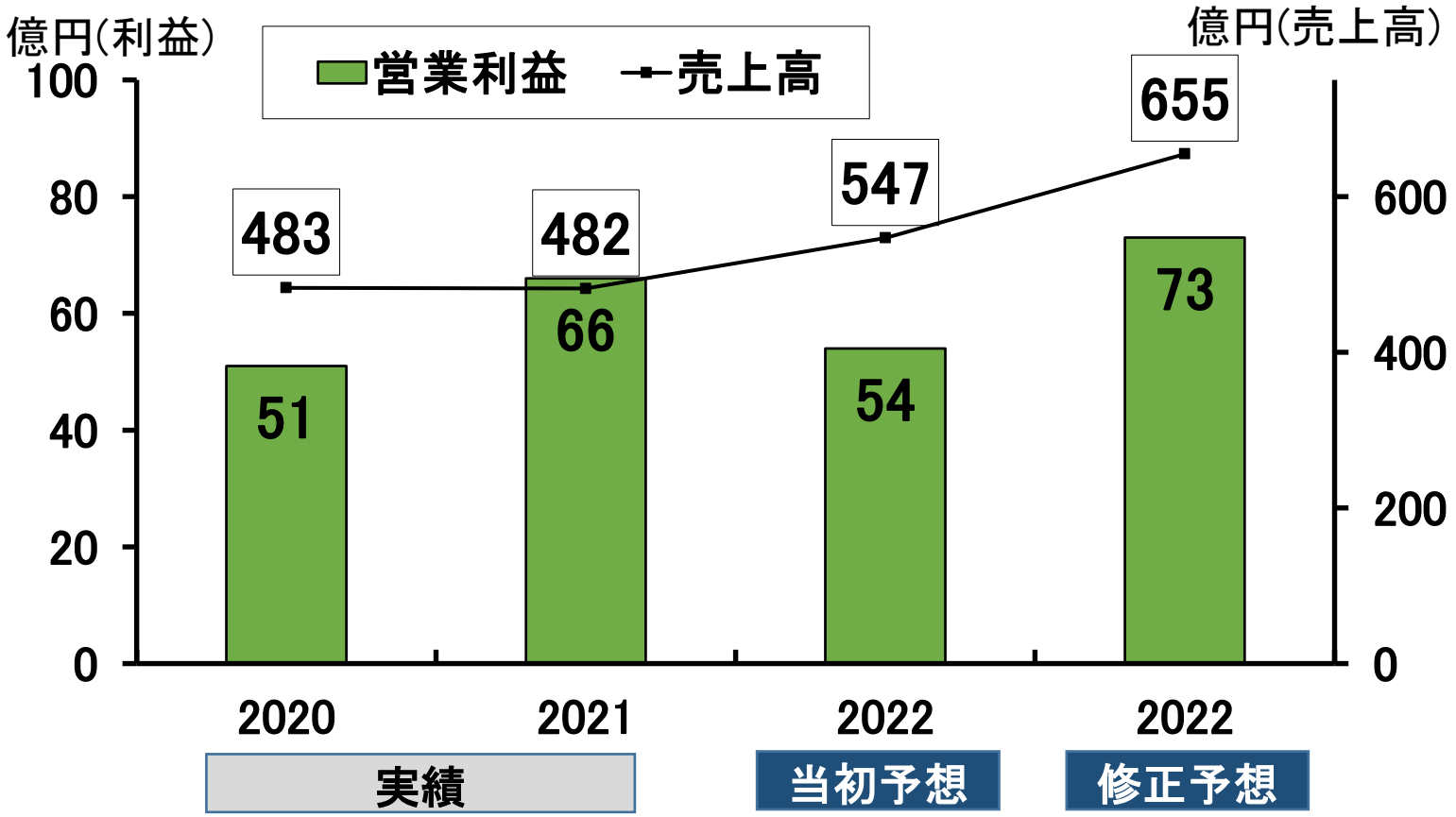


（注）高機能とは機能性材料製品、高付加価値とは耐久性や遮熱性などに優れた顔料の他、特徴あるインキやプラスチック用途などに使われる当社が重点的に拡販に取り組む酸化チタン製品を指す。

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

有機化学事業　業績計画

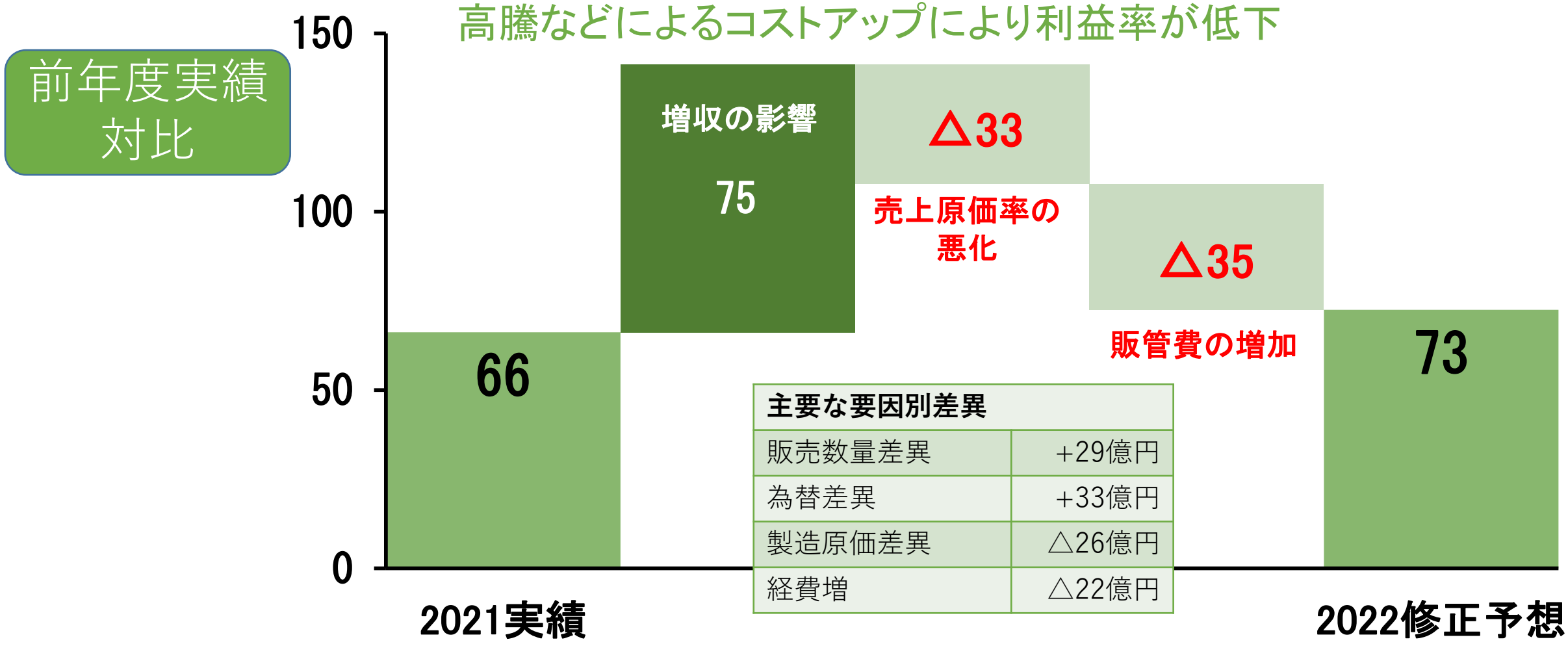
＜事業環境の見通し＞ □ 旺盛な穀物生産により、米州を中心に、殺菌剤の販売が好調で、加えて、次期主力剤が伸長する見通し



Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

有機化学事業　営業利益増減要因

□ 好調な海外販売で増収するものの、原燃料価格の高騰などによるコストアップにより利益率が低下



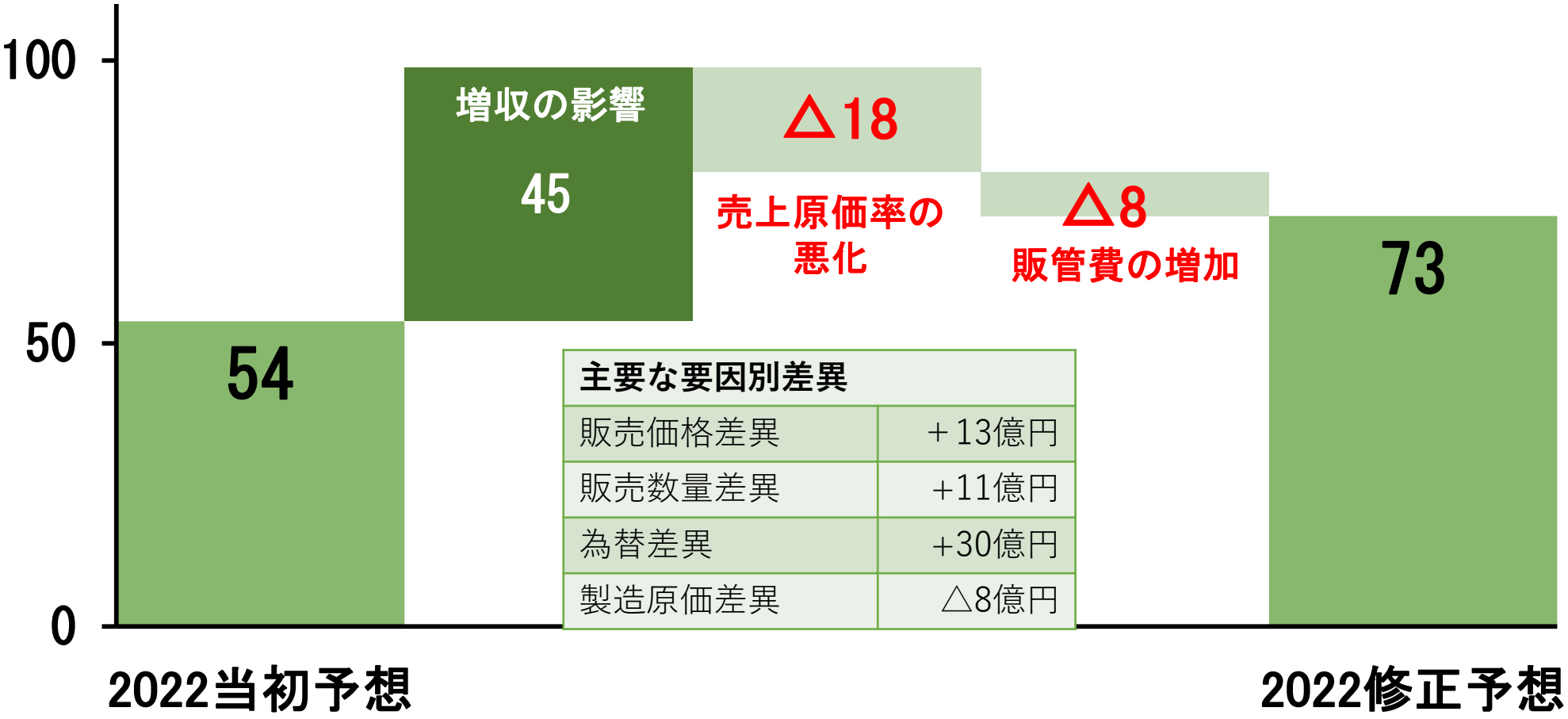
主要な要因別差異	
販売数量差異	+29億円
為替差異	+33億円
製造原価差異	△26億円
経費増	△22億円

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

有機化学事業　営業利益増減要因

営業利益　億円

当初予想
対比

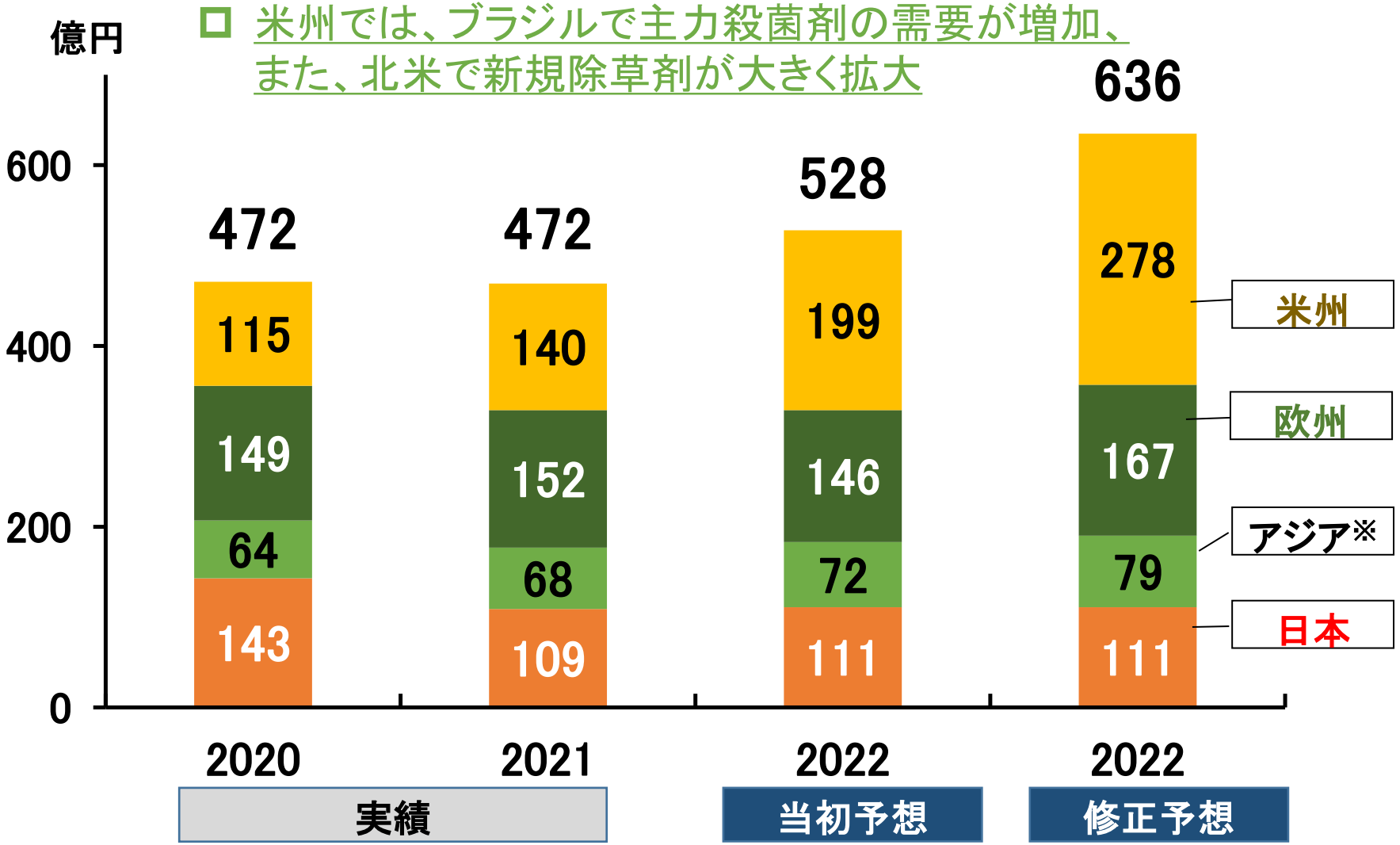


主要な要因別差異	
販売価格差異	＋13億円
販売数量差異	+11億円
為替差異	+30億円
製造原価差異	△8億円

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

農薬　地域別販売計画

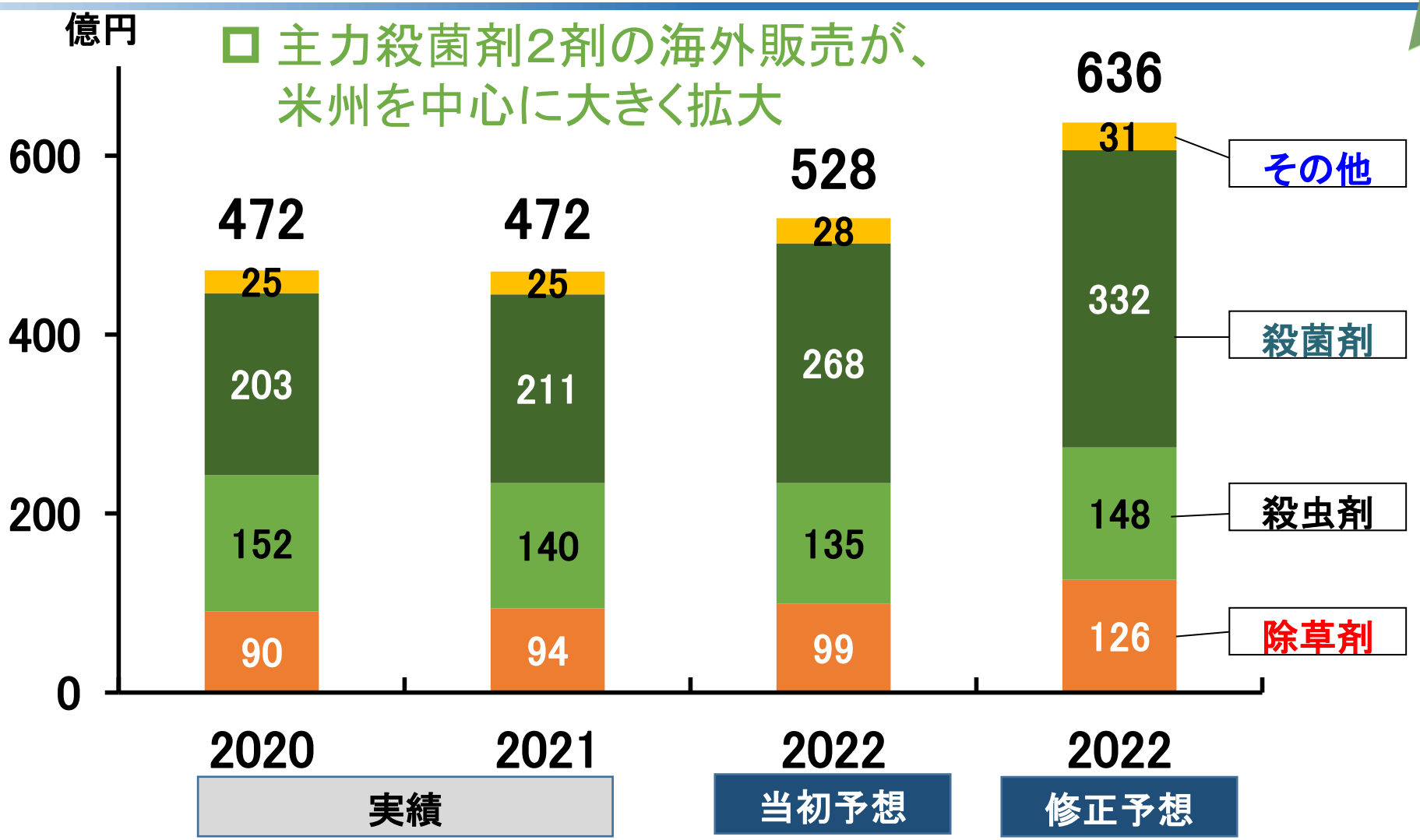
□ 米州では、ブラジルで主力殺菌剤の需要が増加、
また、北米で新規除草剤が大きく拡大



※アジアには、
大洋州を含む。

Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

農薬　用途別販売計画

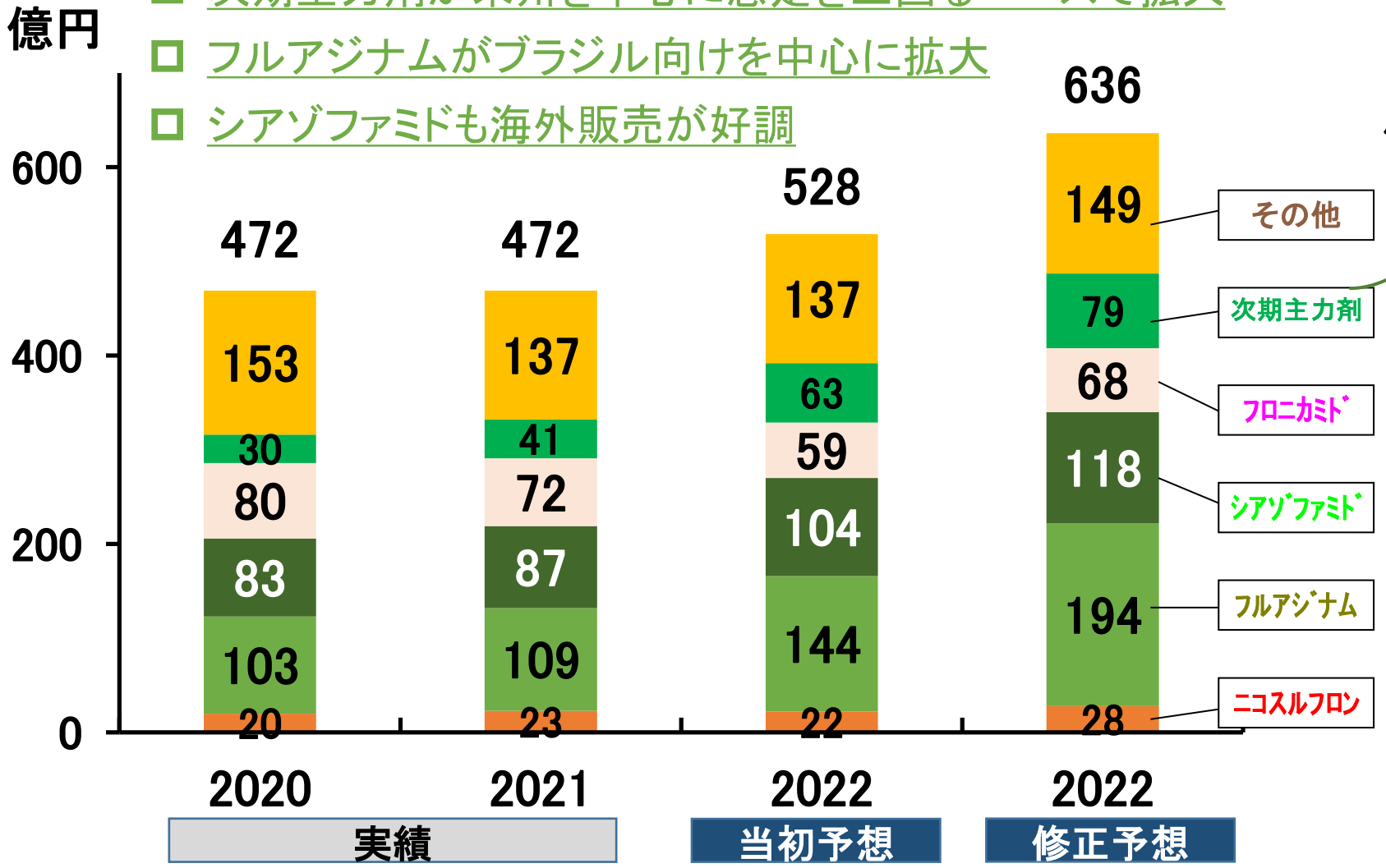


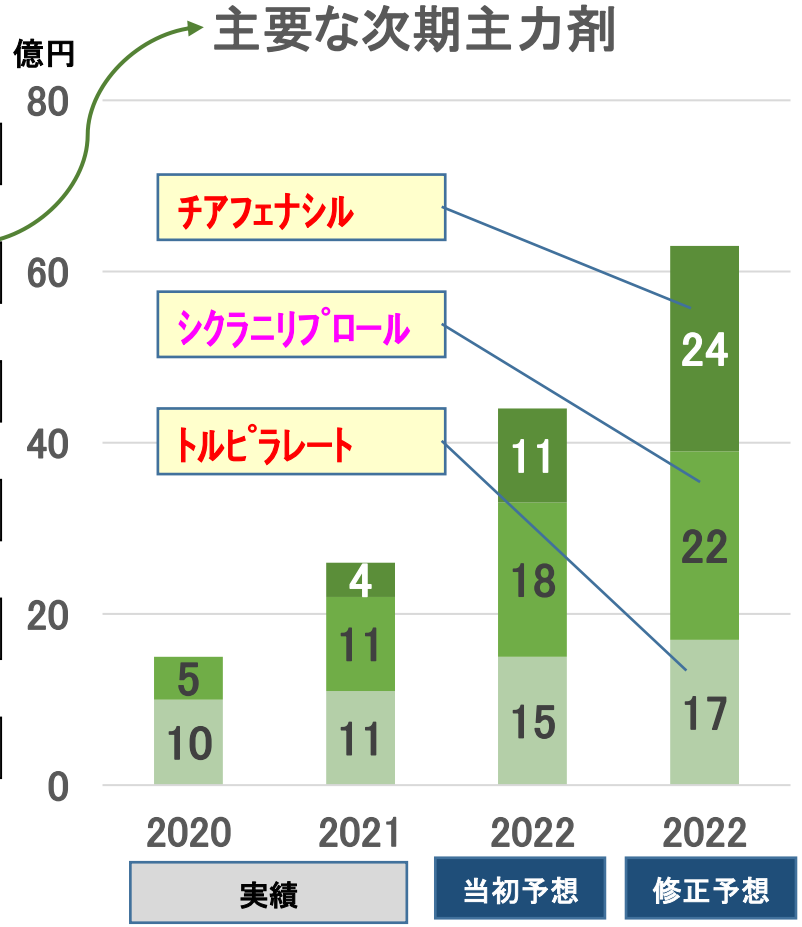
Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

農薬　剤別販売計画

有機化学事業

- 次期主力剤が米州を中心に想定を上回るペースで拡大
- フルアジナムがブラジル向けを中心に拡大
- シアゾファミドも海外販売が好調



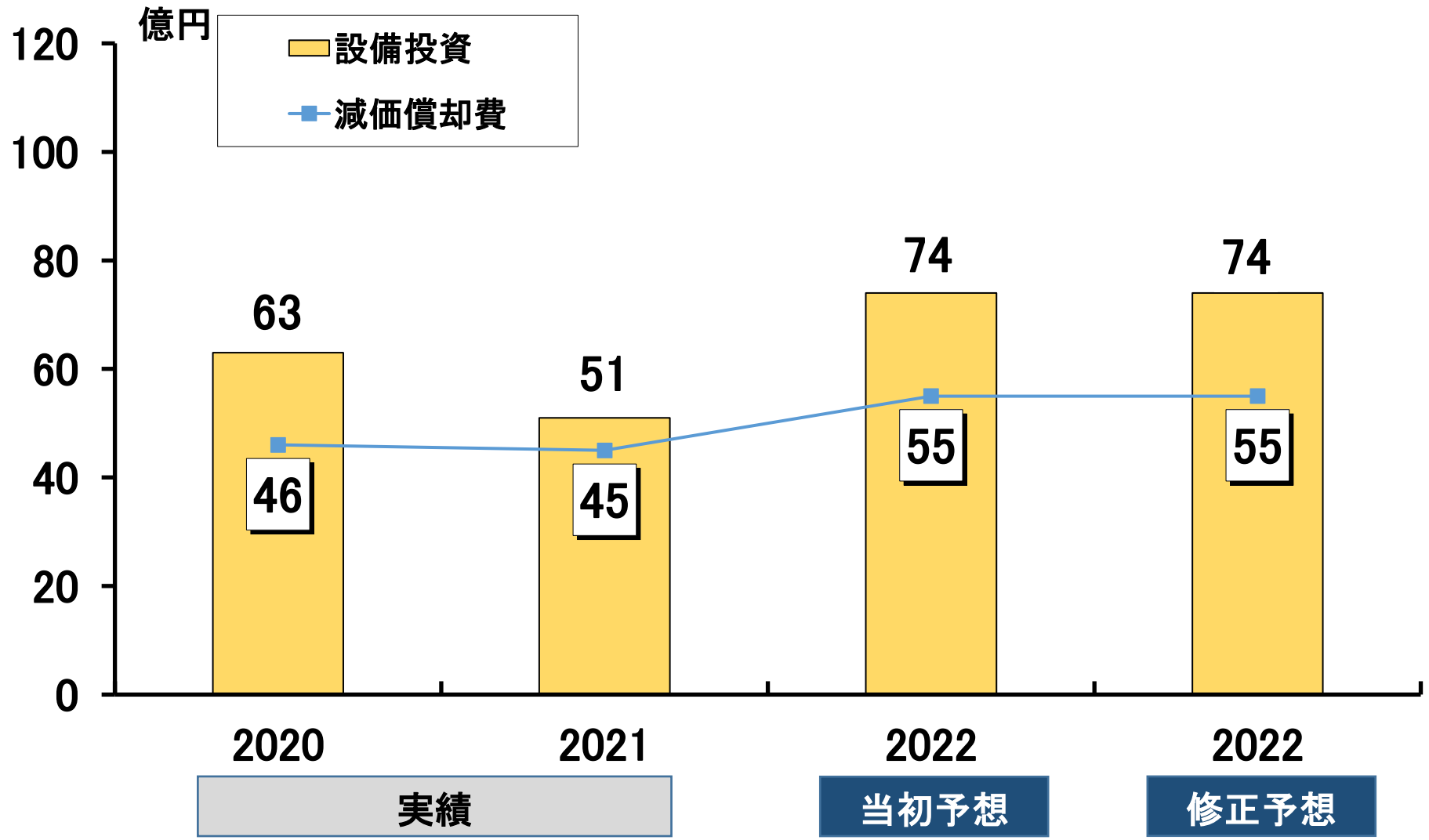


Copyright ©　Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd.　All rights reserved

付属資料

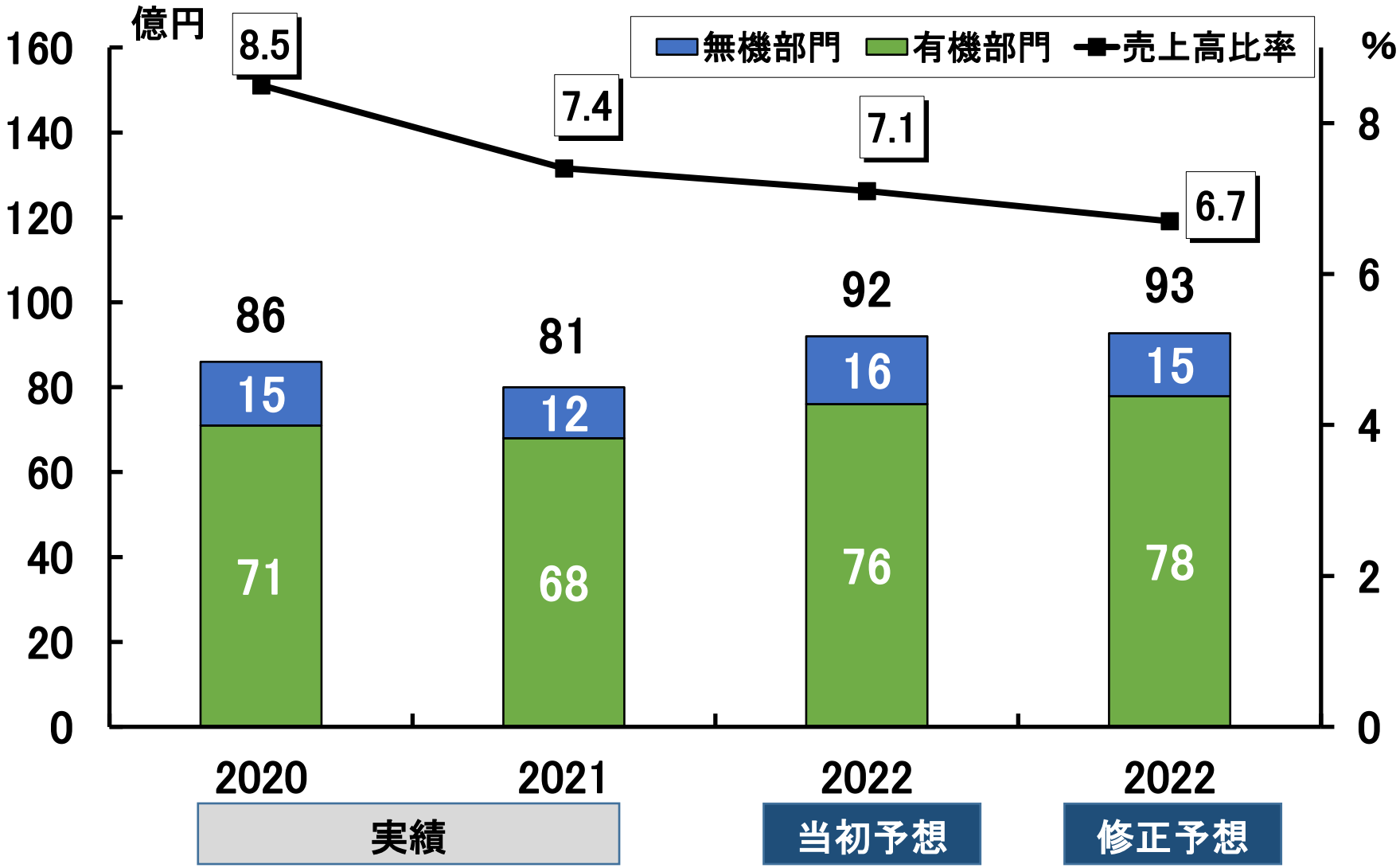
Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

設備投資・減価償却費



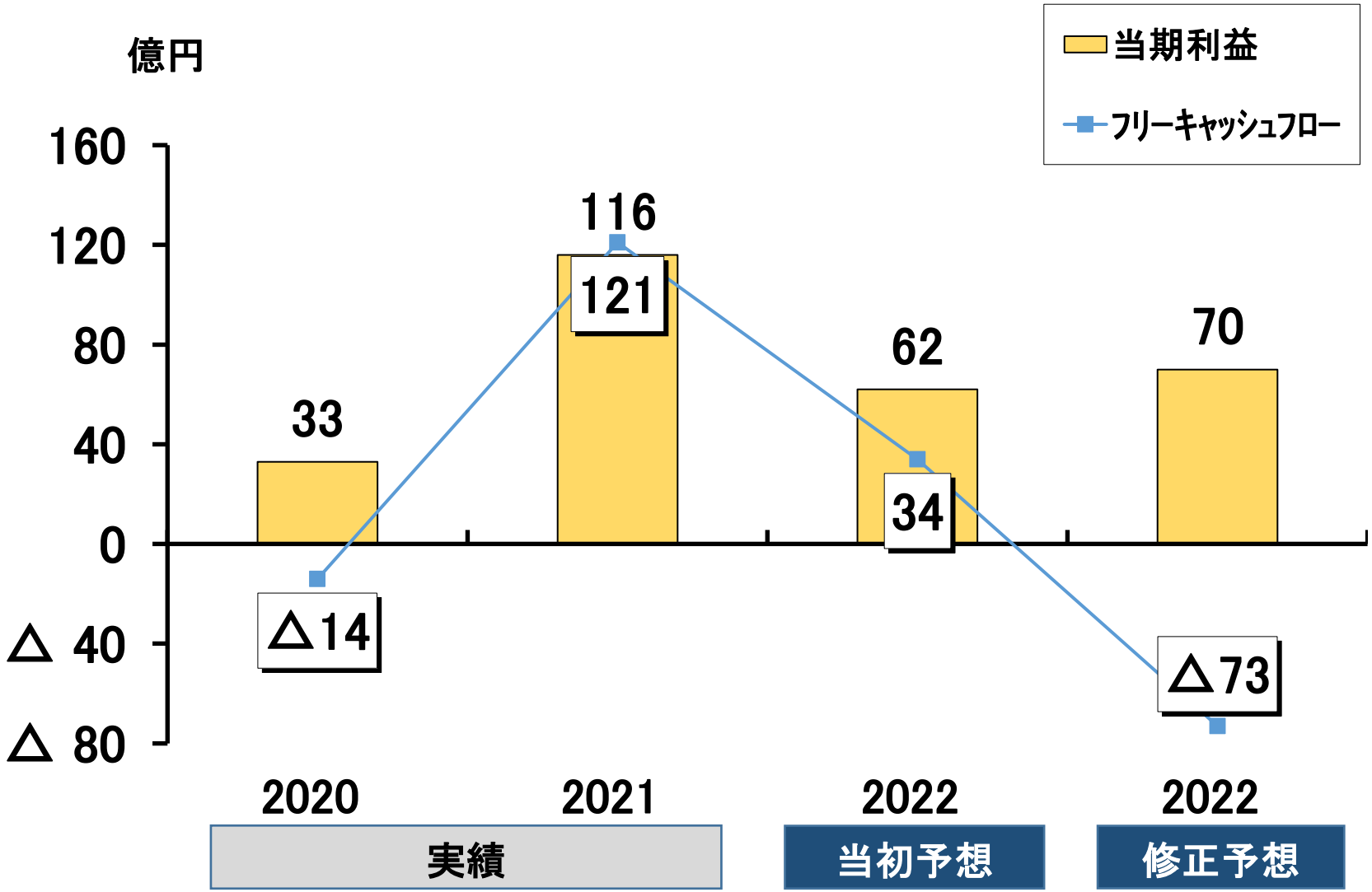
Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

研究開発費



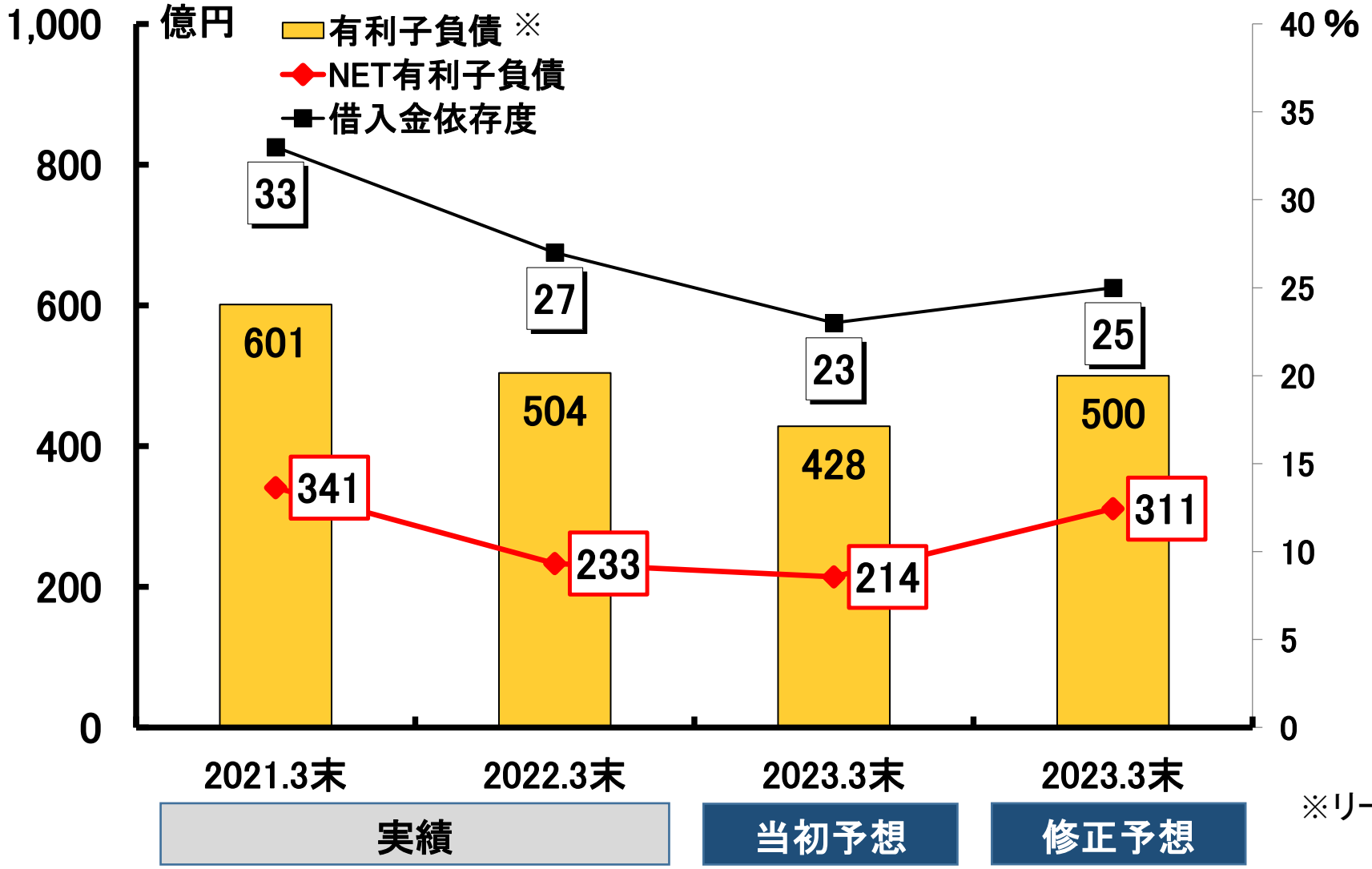
Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

フリーキャッシュフロー



Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

有利子負債残高



※リース債務等を含む

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved

将来に関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料に含まれる将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき予想または予測し記載しているものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。従って、実際の業績等は、ここに記載する将来に関する記述とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

青色コチョウラン「Blue Gene」を発売

本年6月に青色コチョウラン「Blue Gene(ブルージーン)」を発売しました。青色色素を持たないコチョウランにツユクサの青色遺伝子を導入し、17年もの長い期間をかけて開発商品化に成功しました。着色した花の色とは異なる植物が生まれ持つ気高い青色を、自然の風合いとともに長く、開花する花ごとに楽しめます。「Blue Gene」の花言葉は“奇跡のめぐり逢い”。その色褪せない価値を持つ特別な贈りものとして様々な場面でご愛顧いただき、生活の豊かさに貢献していきます。

Copyright © Ishihara Sangyo Kaisha, Ltd. All rights reserved